

令和7年度八千代市教育委員会第5回定例会

令和7年8月18日

午後1時45分

議 事 日 程

1 開会

2 会議録署名人の指定

3 令和7年度第4回定例会会議録の承認

4 議事

議案第1号 令和8年度使用教科用図書の採択について

(休憩 5分)

議案第2号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書について

議案第3号 附属機関の委員の委嘱について
(八千代市文化財審議会委員)

議案第4号 学校運営協議会委員の任命について

5 報告事項

各課報告

6 議事

議案第5号 令和7年度八千代市一般会計補正予算(第2号)案について

7 閉会

【各課報告】

- 1 「(仮称) みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会」の進捗状況について (学務課)
- 2 第18回八千代子どもサミットについて (指導課) …資料1
- 3 第11回八千代教育サミットについて (指導課) …資料2
- 4 新システムへの移行に伴う導入研修について
(教育センター) …資料3
- 5 「学びカフェ」の開催について (教育センター) …資料3
- 6 中学校総合体育大会の結果について (保健体育課)
- 7 令和7年度第1回家庭教育講演会 (生涯学習振興課) …資料4
- 8 令和7年度第1回家庭教育講座 (生涯学習振興課) …資料5

議案第 1 号

令和 8 年度使用教科用図書の採択について

令和 8 年度使用教科用図書及び学校教育法附則第 9 条第 1 項の規定による一般図書を次のように採択する。

令和 7 年 8 月 1 8 日提出

八千代市教育委員会

教育長 嶺 岸 秀 一

令和 7 年度第 2 回教科用図書葛南東部採択地区協議会で選定された学校教育法第 3 4 条第 1 項（第 4 9 条及び第 4 9 条の 8 において準用する場合を含む。）に規定する教科用図書及び学校教育法附則第 9 条第 1 項の規定による一般図書

議案第 2 号

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書について

教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を別冊のとおり作成するため、ご承認願いたい。

令和 7 年 8 月 1 8 日 提出

八千代市教育委員会

教育長 嶺 岸 秀 一

提案理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 6 条第 1 項の規定により、令和 6 年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成いたしたい。

議案第 3 号

附属機関の委員の委嘱について

附属機関の委員に下記の者を委嘱したいので、ご承認願いたい。

令和 7 年 8 月 1 8 日提出

八千代市教育委員会

教育長 嶺 岸 秀 一

記

1 八千代市文化財審議委員

委員の任期満了及び任用期間調整のため、次期委員を委嘱したい。

任期：令和 7 年 1 0 月 1 日～令和 9 年 9 月 3 0 日

区分	氏名	経歴・職業	備考
文化財に関し 識見の高い者	稲田 晃	元あずさ第一高等学校 非常勤講師	再任
	金出 ミチル	東京藝術大学大学院 非常勤講師	再任
	木原 律子	元八千代市史編さん委員	再任
	栗本 佳弘	元千葉県立博物館長	再任
	小池 淳一	国立歴史民俗博物館 研究部教授	再任
	阪田 正一	元立正大学文学部特任教授	再任
	濱名 徳順	宝聚寺住職	再任
	綿貫 啓一	元八千代市史編さん執筆員	再任

議案第 4 号

学校運営協議会委員の任命について
学校運営協議会委員に下記の者を任命したいので、ご承認願いたい。

令和 7 年 8 月 1 8 日提出

八千代市教育委員会
教育長 嶺 岸 秀 一

記

1 学校運営協議会委員の任命

(1) 高津小学校

学校運営協議会委員を新たに任命したい。

任期：令和 7 年 8 月 1 8 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

学校名	氏名	所属名・役職名	備考
高津小学校	相田 修	高津小学校 PTA 会長	新任

議案第 5 号

令和 7 年度八千代市一般会計補正予算（第 2 号）案について
令和 7 年度八千代市一般会計補正予算（第 2 号）案を下記のとおり市長に申
し出ることについて、ご承認願いたい。

令和 7 年 8 月 1 8 日提出

八千代市教育委員会
教育長 嶺 岸 秀 一

記

令和 7 年度八千代市一般会計補正予算（第 2 号）案

令和7年度 八千代市一般会計補正予算（第2号）案

歳入

(単位：千円)

No.	科			目				補正前	補正額	計	担当課			
	款	項	目	節	節	節	節							
1	23	市債	1	市債	7	教育債	1	小学校債	20	小学校施設整備事業債	2,731,300	13,400	2,744,700	教育総務課
2	23	市債	1	市債	7	教育債	3	中学校債	20	中学校施設整備事業債	1,260,700	13,800	1,274,500	教育総務課
3	23	市債	1	市債	7	教育債	4	社会教育債	20	総合生涯学習プログラム施設整備事業債	0	24,600	24,600	生涯学習振興課
計												51,800		

令和7年度 八千代市一般会計補正予算（第2号）案

歳出

（単位：千円）

No.	科 目			細 事 業 名	節	細 節	説 明	補 正 前	補 正 額	計	担 当 課					
	款	項	目													
1	10	教育費	1	教育総務費	3	教育振興費	コンピュータ教育事業	12	委託料	1	委託料	教育システム大和田小学校長寿 尚化対応整備業務委託料の増額	879,628	5,764	885,392	教育センター
2	10	教育費	2	小学校費	3	学校建設費	小学校施設整備事業	12	委託料	1	委託料	菅田小学校校舎トイレ改修工事実施設計業務 委託料の追加	72,014	8,276	80,290	教育総務課
3	10	教育費	2	小学校費	3	学校建設費	小学校施設整備事業	14	工事請負費	1	工事請負費	菅田小学校屋上防水改修工事請負費の追加	3,917,313	17,875,935	17,875,3,935,188	教育総務課
4	10	教育費	3	中学校費	3	学校建設費	中学校施設整備事業	14	工事請負費	1	工事請負費	勝田中学校外壁改修等工事請負費の追加	1,313,355	18,480,1,331,835	18,480,1,331,835	教育総務課
5	10	教育費	5	社会教育費	2	公民館費	公民館維持管理事業	14	工事請負費	1	工事請負費	高津公民館空調改修工事請負費の追加	9,973	5,038	15,011	八千代台東南公民館
6	10	教育費	5	社会教育費	9	総合生涯学習 プラザ費	総合生涯学習プラザ 運営管理事業	14	工事請負費	1	工事請負費	総合生涯学習プラザ4階空調設備工事請負費 の追加	0	32,864	32,864	生涯学習振興課
7	10	教育費	5	社会教育費	11	スポーツ推進 費	スポーツ推進事業	7	報償費	1	報償費	本市出身オリンピックメダリストによる柔 道教室開催に係る報償費の追加	0	110	110	文化・スポーツ課
8	10	教育費	5	社会教育費	11	スポーツ推進 費	スポーツ推進事業	11	役務費	3	手数料	本市出身オリンピックメダリストによる柔 道教室開催に係る手数料の追加	32	440	472	文化・スポーツ課
9	10	教育費	5	社会教育費	11	スポーツ推進 費	スポーツ推進事業	12	委託料	1	委託料	本市出身オリンピックメダリストによる柔 道教室開催に係る委託料の追加	14,261	493	14,754	文化・スポーツ課
10	10	教育費	5	社会教育費	11	スポーツ推進 費	スポーツ推進事業	17	備品購入費	1	備品購入費	スポーツ推進委員ユニフォーム購入に係る備 品購入費の追加	1,314	684	1,998	文化・スポーツ課
11	10	教育費	6	保健体育費	2	体育施設運営 費	体育施設管理事業	10	需用費	5	光熱水費	体育施設管理事業に係る光熱水費の増額	16,394	7,263	23,657	文化・スポーツ課
12	10	教育費	6	保健体育費	2	体育施設運営 費	体育施設管理事業	12	委託料	1	委託料	有料公園施設及び総合グラウンドの管理運営 に関する指定管理料の変更に係る減額	144,606	△29,243	115,363	文化・スポーツ課
13	10	教育費	6	保健体育費	3	学校給食費	学校給食センター業 務事業	10	需用費	7	賄材料費	物価高騰に伴う給食費負担軽減に係る賄材料 費の増額	977,539	40,000,1,017,539	40,000,1,017,539	学校給食センター

No.	科目			細事業名	節	節	細節	説明	補正前	補正額	計	担当課
	款	項	目									
計												
										108,044		

令和7年度 八千代市一般会計補正予算（第2号）案

繰越明許費補正

追加

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
10	教育費	小学校施設整備事業	8,276

債務負担行為補正

追加

No.	事業	事項	期間	限度額	償還の方法
1	学校音楽会バス借上業務委託	学校音楽会バス借上業務委託	自 令和7年度 至 令和8年度		学校音楽会バス借上業務委託に要する概定金2,841千円に消費税及び地方消費税を加算した額の範囲内
2	外国語教育指導助手派遣	外国語教育指導助手派遣	自 令和7年度 至 令和10年度		外国語教育指導助手派遣に要する概定金291,750千円に消費税及び地方消費税を加算した額の範囲内
3	宿泊学習送迎バス運行業務委託	宿泊学習送迎バス運行業務委託	自 令和7年度 至 令和8年度		宿泊学習送迎バス運行業務委託に要する概定金8,081千円に消費税及び地方消費税を加算した額の範囲内
4	水泳学習児童生徒運送業務委託	水泳学習児童生徒運送業務委託	自 令和7年度 至 令和8年度		水泳学習児童生徒運送業務委託に要する概定金23,259千円に消費税及び地方消費税を加算した額の範囲内
5	通学支援バス運行業務委託	通学支援バス運行業務委託	自 令和7年度 至 令和8年度		通学支援バス運行業務委託に要する概定金84,638千円に消費税及び地方消費税を加算した額の範囲内

地方債補正

追加

(単位：千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
総合生涯学習プラザ施設整備	24,600	普通貸借又は証券発行	5.0%以内(ただし、利率見直し方式で借入れられる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合には、その融資条件又はその債権者と協定するものによる。ただし、市財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還もしくは低利に借換えすることができ。

変更

(単位：千円)

起債の目的	補正前 限度額	補正後 限度額
小学校施設整備	2,731,300	2,744,700
中学校施設整備	1,260,700	1,274,500

令和8年度 選定教科書

<小学校>

種 目	発 行 者
国 語	教 育 出 版
書 写	教 育 出 版
社 会	東 京 書 籍
地 図	帝 国 書 院
算 数	啓 林 館
理 科	大 日 本 図 書
生 活	大 日 本 図 書
音 楽	教 育 出 版
図 画 工 作	開 隆 堂 出 版
家 庭	開 隆 堂 出 版
保 健	東 京 書 籍
外 国 語	東 京 書 籍
道 徳	光 村 図 書

令和8年度 選定教科書

<中学校>

種 目	発 行 者
国 語	教 育 出 版
書 写	教 育 出 版
社会（地理的分野）	東 京 書 籍
社会（歴史的分野）	教 育 出 版
社会（公民的分野）	東 京 書 籍
地 図	帝 国 書 院
数 学	啓 林 館
理 科	啓 林 館
音楽（一般）	教 育 芸 術 社
音楽（器楽合奏）	教 育 芸 術 社
美 術	開 隆 堂
保 健 体 育	東 京 書 籍
技術・家庭（技術分野）	東 京 書 籍
技術・家庭（家庭分野）	東 京 書 籍
外 国 語	啓 林 館
道 徳	光 村 図 書

令和8年度選定一般図書

特別支援教育

種 目	発 行 者	図 書 名
算数・数学	学研	さわって学べる算数図鑑
算数・数学	ひさかた	スキンシップ絵本 かずのえほん
生活・社会	合同出版	絵でわかるこどものせいかつずかん 1 みのまわりのきほん
保健体育	東洋館	くらしに役立つ保健体育

学校教育法附則第9条第1項の規定による一般図書について

令和8年度使用 学校教育法附則第9条第1項の規定による一般図書一覧

教科	通し	No.	発行者略称	発行者コード*	図書コード*	図 書 名	定価(円)	備考
国 語	1	1	あかね書房	01-1	A01	もじのえほん あいうえお	3,000	
	2	2	あかね書房	01-1	A02	もじのえほん かたかなアイウエオ	3,000	
	3	3	偕成社	06-1	O01	五味太郎・言葉図鑑(1) うごきのことば	1,600	
	4	4	偕成社	06-1	O03	五味太郎・言葉図鑑(3) かざることば(A)	1,600	
	5	5	偕成社	06-1	O05	五味太郎・言葉図鑑(5) つなぎのことば	1,600	
	6	6	偕成社	06-1	O06	五味太郎・言葉図鑑(6) ぐらしのことば	1,600	
	7	7	偕成社	06-1	O10	五味太郎・言葉図鑑(10) なまえのことば	1,600	
	8	8	偕成社	06-1	T01	エリック・カールの絵本 はらぺこあおむし	1,200	
	9	9	偕成社	06-1	T04	エリック・カールの絵本 くまさんくまさんにみてるの?	1,000	
	10	10	偕成社	06-1	T05	エリック・カールの絵本(ぬりえ絵本) ごちゃまぜカメレオン	1,400	
	11	11	偕成社	06-1	T06	エリック・カールの絵本 月ようびはなにたべる?—アメリカのわらべうた	1,200	
	12	12	偕成社	06-1	T07	エリック・カールの絵本 できるかな?—あたまからつまさきまで—	1,200	
	13	13	偕成社	06-1	W01	木村裕一・しかけ絵本(1) みんなみんなみーつけた	1,100	
	14	14	偕成社	06-1	Y01	ともだちだいすき(2) おべんとうなあに?	1,200	
	15	15	くもん出版	08-1	B01	生活図鑑カード たべものカード	1,200	
	16	16	くもん出版	08-1	C01	書きかたカード「ひらがな」	1,800	
	17	17	くもん出版	08-1	D01	ひらがなカード	1,400	
	18	18	こぐま社	10-4	B03	こぐまちゃんえほん第2集 こぐまちゃんのみずあそび	900	
	19	19	こぐま社	10-4	B05	こぐまちゃんえほん第3集 しろくまちゃんのほっとけーき	900	
	20	20	こぐま社	10-4	G01	柳原良平のえほん かおかおどんなかお	800	
	21	21	小峰書店	10-5	C01	くまたんのはじめてシリーズ よめるよめるよあいうえお	1,200	
	22	22	太郎次郎社	16-4	A01	漢字がたのしくなる本シリーズ 漢字がたのしくなる本ワーク1基本漢字あそび	1,155	
	23	23	太郎次郎社	16-4	A02	漢字がたのしくなる本シリーズ 漢字がたのしくなる本ワーク2あわせ漢字あそび	1,155	
	24	24	童心社	20-1	H02	14ひきのシリーズ 14ひきのびくにつく	1,300	
	25	25	戸田デザイ	20-4	O03	あいうえおえほん	1,800	
	26	26	戸田デザイ	20-4	O07	よみかた絵本	1,800	
	27	27	同成社	20-5	A01	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1(改訂版) (ひらがなのことば・文・文章の読み)	1,300	
	28	28	同成社	20-5	A02	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2(改訂版) (かたかな・かん字の読み書き)	1,100	
	29	29	同成社	20-5	A03	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3(改訂版) (文章を読む、作文・詩を書く)	900	
	30	30	同成社	20-5	A04	ゆっくり学ぶ子のための 国語4	1,100	
	31	31	同成社	20-5	B01	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編1(改訂版) (表象形成・音韻形成・発声・発音)	1,100	
	32	32	同成社	20-5	B02	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編2(改訂版) (ひらがなの読み書き)	1,100	
	33	33	東洋館	20-7	O02	改訂新版ぐらしに役立つ国語	1,500	
	34	34	エストデイ	22-3	A01	ひとりだちするための国語	1,700	
	35	35	ひかりのく	27-1	D01	202シリーズ たべもの202	1,200	
	36	36	評論社	27-2	B01	しかけ絵本の本棚 コロちゃんはどこ?	1,200	
	37	37	ひさかた	27-3	C04	スキンシップ絵本 かたかなアイウエオ	1,600	
	38	38	P H P	27-4	O01	子どもの字がうまくなる練習ノート	1,200	

令和8年度使用 学校教育法附則第9条第1項の規定による一般図書一覧

教科	通し	No.	発行者略称	発行者コード*	図書コード*	図 書 名	定価(円)	備考
国語	39	39	福音館	28-1	H25	こどものとも絵本 そらいろのたね	1,000	
	40	40	福音館	28-1	J01	世界傑作絵本シリーズ てぶくろ	1,000	
	41	41	福音館	28-1	J03	世界傑作絵本シリーズ 三びきのやぎのがらがらどん	1,200	
	42	42	福音館	28-1	K04	ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐらの1ねんかん	1,400	
	43	43	ポプラ	30-2	D05	ねずみくんの絵本1 ねずみくんのチョコッキ	1,300	
	44	44	リール	40-3	001	あっちゃんあがつくたべものあいうえお	1,800	
	45	45	UD絵本	87-11	530	ユニバーサルデザイン絵本6おでかけまるちゃん	1,000	
	46	46	日点(一般)	T217	001	T217-001 視覚障害者の漢字学習 (教育用漢字 小学1年)	34,000	
	47	47	日点(一般)	T217	002	T217-002 視覚障害者の漢字学習 (教育用漢字 小学2年)	40,000	
	48	48	日点(一般)	T217	003	T217-003 視覚障害者の漢字学習 (教育用漢字 小学3年)	44,500	
	49	49	日点(一般)	T217	004	T217-004 視覚障害者の漢字学習 (教育用漢字 小学4年)	44,500	
	50	50	日点(一般)	T217	005	T217-005 視覚障害者の漢字学習 (教育用漢字 小学5年)	43,500	
	51	51	日点(一般)	T217	006	T217-006 視覚障害者の漢字学習 (教育用漢字 小学6年)	43,500	
	52	52	日点(一般)	T217	007	T217-007 視覚障害者の漢字学習 (常用漢字中学校編)	12,000	
算数・数学	53	1	あかね書房	01-1	001	単行本 さわってあそぼうふわふわあひる	2,500	
	54	2	岩崎書店	02-1	E05	五味太郎のことばとかずの絵本 すうじの絵本	1,400	
	55	3	偕成社	06-1	A02	エリック・カールかずのほん 1, 2, 3 どうぶつえんへ	1,200	
	56	4	学研	06-2	535	さわって学べる算数図鑑	2,500	R8
	57	5	金の星社	07-2	B03	あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんのまる・さんかく・しかく	1,000	
	58	6	くもん出版	08-1	D02	とけいカード	1,600	
	59	7	講談社	10-1	H05	ブルーナのアイディアブックミッフィーの1から10まで	850	
	60	8	小峰書店	10-5	C02	くまたんのはじめてシリーズ おいしいおいしい1・2・3	1,200	
	61	9	こぼと	10-9	B01	中級編ジャンプアップ とけい・おかね・カレンダー	1,800	
	62	10	三省堂	11-4	A04	三省堂こどもかずの絵じてん	1,400	
	63	11	小学館	12-2	B02	21世紀幼稚園百科2 とけいとじかん	970	
	64	12	小学館	12-2	B06	21世紀幼稚園百科6 かずあそび1・2・3	970	
	65	13	戸田デザイン	20-4	002	1から100までのえほん	1,800	
	66	14	戸田デザイン	20-4	008	6つの色	1,200	
	67	15	戸田デザイン	20-4	009	とけいのえほん	1,600	
	68	16	同成社	20-5	C01	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」1 (量概念の基礎、比較、なかま集め)	1,100	
	69	17	同成社	20-5	C02	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」2 (1対1対応、1～5の数、5までのたし算)	1,100	
	70	18	同成社	20-5	C03	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3 (6～9のたし算、ひき算、位取り)	1,100	
	71	19	同成社	20-5	C04	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4 (くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算)	1,100	
	72	20	同成社	20-5	C05	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5 (3けたの数の計算、かけ算、わり算)	1,100	
	73	21	東洋館	20-7	003	改訂新版くらしに役立つ数学	1,500	
	74	22	エストディ	22-3	A02	ひとりだちするための算数・数学	1,600	
	75	23	ひかりのく	27-1	B05	認識絵本5 いくつかな	1,200	
	76	24	ひさかた	27-3	C05	スキンシップ絵本 かずのえほん	1,600	R8
	77	25	民衆社	32-1	A02	さんすうだいすきあそぶ・つくる・しらべる2年	1,800	

令和8年度使用 学校教育法附則第9条第1項の規定による一般図書一覧

教科	通し	No.	発行者略称	発行者コード*	図書コード*	図 書 名	定価(円)	備考
生活・社会	78	1	あかね書房	01-1	H02	かばくん・くらしのえほん2 かばくんのおかいもの	1,700	
	79	2	岩崎書店	02-1	A23	あそびの絵本 えかきあそび	1,400	
	80	3	旺文社	05-3	B06	学校では教えてくれない大切なこと(6) 友だち関係(気持の伝え方)	1,100	
	81	4	偕成社	06-1	Z01	子どものマナー図鑑(1) ふだんの生活のマナー	1,500	
	82	5	学研	06-2	C03	はっけんずかん のりもの改訂版	2,200	
	83	6	学研	06-2	G07	あそびのおうさまBOOK はじめてぬるほん	1,200	
	84	7	学研	06-2	G08	あそびのおうさまBOOK はじめてきるほん	1,200	
	85	8	学研	06-2	N01	ほんとおおきさ ほんとおおきさ動物園	1,500	
	86	9	金の星社	07-2	F04	ひとりでするもん!4 うれしいごはん、パン、めん料理	2,200	
	87	10	金の星社	07-2	F06	ひとりでするもん!6 だいすきおやつ作り	2,200	
	88	11	金の星社	07-2	K01	げんきをつくる食育えほん1 たべるのだいすき!	1,500	
	89	12	教芸	07-4	O05	5訂版歌はともだち	362	
	90	13	くもん出版	08-1	B02	生活図鑑カード くだものやさいカード1集	1,200	
	91	14	合同出版	10-8	B01	絵でわかるこどものせいかつずかん1 みのまわりのきほん	1,400	R8
	92	15	コクヨ	10-10	A01	かおノート	1,300	
	93	16	小学館	12-2	C01	ドラえもんちずかん1 にっぽんちず	1,500	
	94	17	小学館	12-2	C02	ドラえもんちずかん2 せかいちず	1,500	
	95	18	鈴木出版	13-2	A05	知育えほん マークのずかん	1,600	
	96	19	チャイルド	17-1	O01	ぬったりかいたりらくがきBOOK	1,500	
	97	20	東洋館	20-7	O04	改訂新版くらしに役立つ理科	1,500	
	98	21	ナツメ社	21-2	O01	子どもの生きる力を育てるせいかつの絵じてん	1,800	
	99	22	ひかりのく	27-1	I01	改訂新版体験を広げるこどものずかん1 どうぶつえん	1,700	
	100	23	ひかりのく	27-1	I04	改訂新版体験を広げるこどものずかん4 はなとやさい・くだもの	1,700	
	101	24	ひかりのく	27-1	I08	改訂新版体験を広げるこどものずかん8 あそびのずかん	1,200	
	102	25	ひかりのく	27-1	O03	マナーやルールがどんどんわかる! 新装改訂版みぢかなマーク	1,200	
職業・家庭	103	1	岩崎書店	02-1	C04	かいかたそだてかたずかん4 やさいのうえかたそだてかた	1,600	
	104	2	岩崎書店	02-1	F08	絵本図鑑シリーズ8 やさいのずかん	1,700	
	105	3	旺文社	05-3	515	学校では教えてくれない大切なこと(9) ルールとマナー	1,100	
	106	4	偕成社	06-1	J04	子どもの健康を考える絵本(4) からだがすきなたべものなあに?	1,200	
	107	5	偕成社	06-1	X01	坂本廣子のひとりでクッキング(1) 朝ごはんつくろう!	1,400	
	108	6	偕成社	06-1	X02	坂本廣子のひとりでクッキング(2) 昼ごはんつくろう!	1,400	
	109	7	偕成社	06-1	Z03	子どものマナー図鑑(3) でかけるときのマナー	1,500	
	110	8	開隆堂出版	06-4	O01	職業・家庭たのしい職業科 わたしの夢につながる	1,800	
	111	9	教育画劇	07-5	A02	つくってたべよう!お料理マジック2	1,650	
	112	10	さえら	11-1	D07	母と子の手づくり教室 母と子の園芸教室野菜をつくろう	1,500	
	113	11	小学館	12-2	B11	21世紀幼稚園百科11 からだのふしぎ	970	
	114	12	女子栄養大	12-7	O01	新・こどもクッキング	1,600	
	115	13	東洋館	20-7	O01	改訂新版くらしに役立つ社会	1,500	

令和8年度使用 学校教育法附則第9条第1項の規定による一般図書一覧

教科	通し	No.	発行者略称	発行者コード*	図書コード*	図 書 名	定価(円)	備考
職業・家庭	116	14	東洋館	20-7	006	改訂新版くらしに役立つ家庭	1,500	
	117	15	ひかりのく	27-1	K09	新装版KIDS2112 たべものひやか	850	
	118	16	プロンズ新	28-3	C01	しごとば	1,700	
	119	17	山と溪谷社	36-1	001	家庭科の教科書小学校低学年～高学年用	1,800	
図工・美術	120	1	岩崎書店	02-1	G12	ひとりのできる手づくりBOX しぜんで工作しよう	1,600	
	121	2	学研	06-2	I12	あそびのおうさまずかん リサイクルこうさく増補改訂	1,000	
	122	3	国土社	10-3	B09	たのしい図画工作9 うごくおもちゃ	2,500	
	123	4	国土社	10-3	B16	たのしい図画工作16 ちぎり紙・きり紙・はり絵	2,500	
	124	5	小峰書店	10-5	001	リサイクル工作ずかん	1,400	
	125	6	小学館	12-2	N01	あーとぶつく ひらめき美術館第1館	1,750	
	126	7	のら書店	25-1	001	はじめてのこうさくあそび	1,700	
外国語	127	1	あかね書房	01-1	I03	あかね書房の学習えほん ことばのえほんABC	3,000	
	128	2	あかね書房	01-1	I06	あかね書房の学習えほん えいごえほんぞうさんのピクニック	3,000	
	129	3	あかね書房	01-1	I07	あかね書房の学習えほん えいごえほんぞうさんがっこうに行く	3,000	
	130	4	岩崎書店	02-1	E02	五味太郎のことばとかずの絵本 絵本ABC	1,300	
	131	5	くもん出版	08-1	H02	CD付き英語カードあいさつと話しことば編	1,800	
	132	6	成美堂出版	14-4	005	CDつき楽しく歌える英語のうた	1,400	
	133	7	戸田デザイン	20-4	001	和英えほん	1,500	
保健・体育	134	1	学研	06-2	I01	あそびのおうさまずかん からだ増補改訂	780	
	135	2	金の星社	07-2	E01	やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなってるの?	1,700	
	136	3	合同出版	10-8	A02	子どもとマスターする45の操体法 改訂新版イラスト版からだのつかい方ととのえ方	1,700	
	137	4	合同出版	10-8	A03	運動が得意になる43の基本レッスン イラスト版体育のコツ	1,600	
	138	5	東洋館	20-7	005	改訂新版くらしに役立つ保健体育	1,500	R8
	139	6	ひかりのく	27-1	I09	改訂新版体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう	1,700	
	140	7	ひさかた	27-3	571	どうなってるの?からだのなか	1,800	
	141	8	エイデル	54-26	502	あっ!そうなんだ!わたしのからだ	1,800	

**教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果報告書(案)**

令和7年度（令和6年度実績）

令和7年8月

八千代市教育委員会

目 次

1	点検及び評価に当たって	
(1)	趣旨.....	1
(2)	評価の対象及び方法.....	1
(3)	報告書の構成.....	2
2	教育委員会	
(1)	教育長・教育委員名簿.....	3
(2)	教育委員会会議の開催状況等.....	4
(3)	教育委員の活動状況（教育委員会会議以外）.....	6
3	施策の点検・評価	
	義務教育	
(1)	安心・安全な教育環境の整備.....	7
(2)	教育内容の充実.....	10
(3)	特別支援教育の充実.....	17
(4)	体育・健康・安全に関する教育の充実.....	20
	高校・大学教育	
(1)	大学等教育機関との連携.....	26
	青少年健全育成	
(1)	青少年健全育成支援体制の整備.....	27
(2)	青少年の自立支援体制の推進.....	30
(3)	青少年による自主活動の推進.....	32
	生涯学習	
(1)	市民の学びの支援.....	34
(2)	学びを通じた交流と成果の還元.....	36
(3)	市民の学びの環境整備.....	39
(4)	地域社会と連携し、共に歩む教育への支援.....	41
	市民文化	
(1)	文化活動の推進.....	42
(2)	文化芸術施設の活用・充実.....	45

文化財

- (1) 文化財の保護と活用..... 4 6
- (2) 文化資料の収集・保存・活用..... 4 9
- (3) 埋蔵文化財の保護と活用..... 5 3

スポーツ・レクリエーション

- (1) スポーツ活動の推進..... 5 6
- (2) スポーツ環境の整備..... 5 9
- (3) スポーツ施設の充実..... 6 4

- 4 学識経験者の知見..... 6 6

○資料（巻末に添付）

1 点検及び評価に当たって

(1) 趣旨

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により行い、その内容を報告書としてまとめ、公表するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 評価の対象及び方法

①対象

「第3期八千代市教育振興基本計画」に掲げた施策を対象としています。

②方法

施策ごとに、担当課が令和5年度の実績及び今後の課題と取組について自己点検及び評価を行いました。また、総合的な評価として、学識経験者から意見をいただきました。

評価は、以下の基準により「A、B、C」の三段階で行いました。

【評価基準】

A：達成できた。

B：おおむね達成できた。

C：あまり取り組めなかった。

(3) 報告書の構成

①教育委員会

教育長・教育委員名簿のほか、教育委員会会議の開催状況や審議内容、教育委員の活動状況について記載しています。

②施策の点検・評価

施策ごとに、実績及び今後の課題と取組を記載しています。また、各施策に対する担当課による自己評価を記載しています。

③学識経験者の意見

総合的な評価として、教育行政経験者から各施策に対する意見をいただき、その内容を記載しています。

2 教育委員会

(1)教育長・教育委員名簿

区分	氏名	就任	退任
教育長	小林 伸夫	平成30年12月1日	令和6年9月30日
教育長	嶺岸 秀一	令和6年10月1日	
教育長職務代理者	石井 伸一	平成25年4月1日	
委員	川嶋 一永	平成29年7月7日	
委員	左海 尚子	令和4年4月1日	
委員	三橋 洋子	令和6年1月19日	

(2)教育委員会会議の開催状況等

①教育委員会会議の開催状況

教育委員会定例会 1 2 回，教育委員会臨時会 2 回

②審議案件等

会議	開催日	議案	内 容	
4月定例会	4月17日	議案第1号	附属機関の委員の委嘱について（八千代市いじめ問題対策連絡協議会委員，八千代市いじめ問題対策調査委員会委員，八千代市教育支援委員会委員）	承認
		議案第2号	学校運営協議会委員及び地域学校協働本部運営委員の任命について	承認
5月定例会	5月15日	議案第1号	附属機関の委員の委嘱について（八千代市青少年センター運営協議会委員，八千代市スポーツ推進審議会委員，八千代市文化財審議会委員）	承認
		議案第2号	契約の締結について（八千代市立小中義務教育学校特別教室等増設空調設備の購入）	承認
		議案第3号	契約の締結について（八千代市立大和田小学校長寿命化改修（建築）工事）	承認
		議案第4号	令和6年度教科用図書葛南東部採択地区協議会規約の制定について	承認
6月定例会	6月19日	議案第1号	附属機関の委員の委嘱について（八千代市通学区域審議会委員，八千代市学校給食センター運営委員会委員，八千代市立郷土博物館協議会委員）	承認
		報告第1号	専決処分の報告について	—
		報告第2号	臨時代理の報告について	—
7月定例会	7月17日	議案第1号	附属機関の委員の委嘱について（八千代市公民館運営審議会委員）	承認
		報告第1号～3号	臨時代理の報告について（市民体育館改修（建築）工事，市民体育館改修（機械設備）工事，市民体育館改修（電気設備）工事）	—
8月臨時会	8月7日	議案第1号	令和7年度使用教科用図書の採択について	承認
8月定例会	8月23日	議案第1号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書について	承認
		議案第2号	和6年度八千代市一般会計補正予算（第3号）案について	承認
		議案第3号	議決事件の一部変更について（八千代市立小中学校普通・特別教室等空調設備整備PFI事業）	承認
		議案第4号	職員の任免について	承認
		議案第5号	教育長の辞職の同意について	承認

会議	開催日	議案	内 容	
9月定例会	9月18日		議案なし	
10月定例会	10月9日	議案第1号	八千代市教育委員会教育功労者表彰について	承認
		報告第1号	臨時代理の報告について	—
11月定例会	11月13日	議案第1号	附属機関の委員の委嘱について（八千代市いじめ問題対策連絡協議会委員）	承認
		議案第2号	八千代市適応支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	承認
		議案第3号	令和6年度八千代市一般会計補正予算（第5号）案について	承認
		議案第4号	指定管理者の指定について（市民ギャラリー、八千代市立中央図書館、八千代市立勝田台図書館及び八千代市立緑が丘図書館）	承認
12月定例会	12月18日		議案なし	
1月定例会	1月15日	議案第1号	第4期八千代市教育振興基本計画（素案）について	承認
2月定例会	2月5日	議案第1号	令和6年度八千代市一般会計補正予算（第8号）案について	承認
		議案第2号	令和7年度八千代市一般会計予算案について	承認
		議案第3号	議決事件の一部変更について	承認
3月臨時会	3月14日	議案第1号	県費負担教職員の任免に関する内申について	承認
3月定例会	3月25日	議案第1号	第4期八千代市教育振興基本計画の策定について	承認
		議案第2号	第2期八千代市学校教育推進計画の策定について	承認
		議案第3号	第4期八千代市生涯学習推進計画の策定について	承認
		議案第4号	第3期八千代市スポーツ推進計画の策定について	承認
		議案第5号	八千代市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第6号	八千代市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第7号	八千代市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について	承認
		議案第8号	八千代市適応支援センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第9号	八千代市青少年センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		議案第10号	第2期八千代市障害者活躍推進計画の策定について	承認
		議案第11号	附属機関の委員の委嘱について（八千代市いじめ問題対策調査委員会委員）	承認
		議案第12号	八千代市いじめ防止基本方針の改定について	承認
		議案第13号	学校運営協議会及び地域学校協働本部の設置に伴う委員の任命について	承認
		議案第14号	職員の任免について	承認

(3)教育委員の活動状況(教育委員会会議以外)

月	日	内 容	場 所
5	23	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 定期総会・特別講演	スターツ おおたかの森ホール
8	1	八千代子どもサミット	総合生涯学習プラザ
	5	八千代教育サミット	市民会館
	28	特別支援教育講演会	市民会館
10	30	公開研究会	睦中学校
	31	八千代市教育委員会教育功労者表彰式	市民会館
11	12	公開研究会	萱田南小学校
12	2	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第1回教育長・教育委員研修会	在宅 (W e b)
	5	公開研究会	大和田西小学校
	13	八千代子どもサミット中学生リーダー研修 会	市民会館
	18	令和6年度第1回八千代市総合教育会議	教育委員会庁舎
1	12	成人式	市民会館
	24	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第2回教育長・教育委員研修会	スターツ おおたかの森ホール
3	25	令和6年度第2回八千代市総合教育会議	教育委員会庁舎
	28	令和6年度末教職員人事異動に伴う式典	市民会館

3 施策の点検・評価

義務教育

(1) 安心・安全な教育環境の整備

担当課	学務課
□取り組み（目標）	
① 学校の適正配置 <p>・地域における宅地等の開発状況及び児童生徒数の動向を把握しながら，通学区域の見直しなどを慎重に検討し学校規模の適正化を図るとともに，教育的及び全市的な観点から義務教育学校等の設立を検討し，小中一貫教育を推進します。</p>	
□令和6年度実績	
<p>適正配置検討委員会では，「高津・緑が丘地域における現状及び今後の状況」において，特に高津地域の小学校及び中学校の児童生徒数の推計値から，今後の学校規模の適正化について協議・検討を行った。対策や解決については，令和7年度に改めて協議を行うことになる。</p> <p>通学区域審議会においては，市立小中義務教育学校の通学区域の課題について，現状及び今後の対策について協議・検討を行った。諸課題の解決については，改めて令和7年度以降に協議を進めることとなった。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>適正配置検討委員会及び通学区域審議会において，市内各地域の状況を見極めつつ，学校の適正配置について，通学区域の見直しとともに今後も検討していく予定である。</p> <p>特に，西八千代地区の人口増加に伴う対策については，豊かな教育環境の確保のために，宅地等の開発状況及び児童生徒数の動向を的確に把握していく必要がある。</p>	

「学校の適正配置」に対する評価

評価	評価の理由
A	市内各地域における宅地等の開発状況及び児童生徒数の動向を基に，豊かな教育環境の実現に向けた学校の適正配置について検討することができた。

□取り組み（目標）

② 学校教育施設の改修・整備等

- ・老朽化が進む学校教育施設の長寿命化，改修，更新等を推進します。

□令和6年度実績

児童生徒が快適で利用しやすい環境にするため，施設の改修等に努めた。

【具体的な取組】

- ・みどりが丘小学校分離新設校建設事業
- ・長寿命化改修工事（大和田小学校）
- ・特別教室への空調設置（小中学校，合計283教室）
- ・渡廊下外壁改修工事（みどりが丘小学校）
- ・校舎トイレ改修工事（新木戸小学校・萱田小学校）
- ・プール解体工事（高津中学校）
- ・屋上防水改修等工事（勝田台中学校）
- ・校舎廊下床等改修工事（萱田中学校）
- ・小中学校営繕（小学校74件，中学校46件，合計120件）

□今後の課題と取組

計画的にトイレの乾式化・洋式化への改修を進める。
老朽化した校舎等の改修を行うことで，学校施設の延命化に努める。
空調設備の適正な運用を図る。
学校施設のバリアフリー化及び体育館への空調設置を推進する。

「学校教育施設の改修・整備等」に対する評価

評価	評価の理由
A	当該年度に予定していた工事は全て完了し，目標に対して進捗が認められた。

□取り組み（目標）

③ 就学困難児童生徒の支援

- ・ 経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に必要な援助を行います。

□令和6年度実績

要保護・準要保護児童生徒及び特別支援学級等就学児童生徒の学用品費等について扶助することにより，就学の援助を図った。

【具体的な取組】

- ・ 要保護及び準要保護児童生徒への学用品費等の扶助
（児童720人，生徒411人，合計1,131人）
- ・ 特別支援学級等に在籍する児童生徒への学用品費等の扶助
（児童150人，生徒78人，合計228人）

□今後の課題と取組

多様化するニーズに応じた支給費目・支給金額の検討と増加する受給者数に対応する予算措置が課題となっている。関係諸機関と連携し，正確な対象者の把握と適正な認定・支給に努める。

「就学困難児童生徒の支援」に対する評価

評価	評価の理由
A	要保護・準要保護児童生徒及び特別支援学級等就学児童生徒に必要な援助を行うことができた。

(2) 教育内容の充実

担 当 課	指 導 課
□取り組み（目標）	
① ESDの推進 <p>・「誰一人取り残さない」という考えのもと、SDGsが掲げる17の目標を教育課程に取り入れ、教科横断的な視点をもった教育を全小中学校において行います。また、サステイナブル(持続可能)な社会の構築の視点から、児童生徒一人ひとりが現代社会における様々な問題を自らの問題として主体的に取り組める学校を目指します。</p>	
□令和6年度実績	
<p>市内全小中義務教育学校においてSDGs（持続可能な開発目標）の観点を意識しながら教科・領域の指導を行った。また、市内高津・新木戸地区、大和田・萱田地区においてESD（持続可能な開発のための教育）の教育実践に取り組み、ユネスコスクールへの加盟を推進した。</p> <p>持続可能な社会づくりの担い手の育成のために、学校や地域社会のために主体的に行動する実践力を育む教育に取り組んだ。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>世界中の諸問題を、他人事と捉えるのではなく、自分にできることはないかという視点で捉えられるような児童生徒を育成するために、授業や生活の中にESDの視点を取り入れていく。各校の実態に合わせたESDカレンダーを作成し、教科等横断的な授業づくりを推進する。</p>	

「ESDの推進」に対する評価

評 価	評価の理由
B	ESDについて、各校で意欲的な取り組みが見られた。さらに、授業や生活の中にESDの視点を取り入れていく必要がある。

□取り組み（目標）	
② 教職員の資質向上と学級経営の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上を図るため、各種研修を充実します。 ・ICT機器研修を実施し、教職員のICT機器の活用能力を高めます。 ・初若年教員に対しては、千葉県・千葉市教員等育成指標に対応した研修を充実することで授業づくり及び学級づくりの実践力を高めます。 	
□令和6年度実績	
<p>初任者研修会，2年目教員研修会，3年目教員研修会を，それぞれ3回実施した。研修内容として，教職員の服務，ICT機器活用，地域連携，不登校支援，教育相談，食育，特別支援教育，子どもたちの可能性を引き出し伸ばす授業実践，学級経営の充実等に関する研修を行った。</p> <p>また，八千代市全教職員を対象に夏季授業力向上研修会を実施した。内容としては，教科等横断的な視点で児童生徒の資質・能力の向上を目指した研修を行った。</p> <p>さらに，教職員のICT機器活用能力の育成に向け，情報主任研修会を実施した。各校教職員のICT機器活用能力育成の中心的存在となる各校情報主任に対して，八千代市内で導入しているアプリケーションについての研修や，ICT機器を活用した先進的な授業についての研修を行った。情報主任は，この情報主任研修会の内容を各校で共有することで，八千代市全教職員のICT機器活用能力を育成することにつながったと考えている。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>近年，新規採用者が増加し，校内の教職員に占める初若年者の割合が高くなってきている。今後も，初若年者の占める割合が高い状況が続いていくと想定されている。このような状況の中で，初若年者の育成は喫緊の課題となっている。教職員の可能性を引き出し伸ばす実践的な研修を実施し，初若年教員の資質・指導力向上に努めなければならない。</p> <p>また，八千代市で整備している教育ネットワークシステムを活用した授業が，八千代市内の全ての教室で展開されることをめざして計画的に研修を実施してきた。今後は，苦手意識を持ちICT機器を活用した授業に消極的な先生方に対しての研修を企画していくことが必要だと考えている。</p>	

「教職員の資質向上と学級経営の充実」に対する評価

評価	評価の理由
B	千葉県・千葉市教員等育成指標に基づいて研修内容について見直し，回数も含めて精選して行うことができた。新学習指導要領の理念を踏まえ，教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を目指して，今後も研修内容の充実を図っていく必要がある。

□取り組み（目標）	
<p>③ 国際教育・外国語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解を重視し、グローバル社会に対応した国際教育と先進的な外国語教育を推進します。 ・本市独自のカリキュラムとして、小学校1・2年生の学習において、外国語を学ぶ「言語活動科」を特設します。 ・コミュニケーション能力の育成を図るため、小中学校に外国語指導助手（ALT）を派遣し、英語の基礎・基本や多文化について学ぶとともに、イマージョン教育により体験的に言語の理解を深めます。 	
□令和6年度実績	
<p>小中義務教育学校の外国語教育においては、学級担任や教科担任とALTによるティームティーチングを展開した。 イマージョン教育については、外国語で他教科を学ぶ好事例について、研修会等で紹介し、外国語以外の授業にもALTを派遣した。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>中学校及び義務教育学校後期課程においては、小学校及び義務教育学校前期課程で学んだことの定着が図れるように、小中連携の推進を図る。 体験的に外国語の理解を深めるための手段の一つとして、イマージョン教育等の推進を図る。</p>	

「国際教育・外国語教育の充実」に対する評価

評価	評価の理由
B	<p>コミュニケーション力を育成するため小学校1・2年生に特設された言語活動科での活動内容や、教科化した小学校高学年の外国語での、学習評価の方法の工夫等が必須となり、今後更に小・義務教育学校前期課程と、中・義務教育学校後期課程の連携した取り組みが必要である。</p>

□取り組み（目標）	
④ ICT活用の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想に基づき、児童生徒の情報活用能力を育成します。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向け、ICT機器を適切に活用した授業改善を進めます。 ・ICTの活用による校務の効率化、教職員の事務負担軽減を図り、教員が児童生徒と向き合う時間を確保し、教育の質の向上につなげます。 ・ICTの活用により、休校等の緊急時でも児童生徒の学びを保障できる環境の整備を進めます。 	
□令和6年度実績	
<p>ICT機器を様々な場面で効果的に利活用した学習が行われた。特にタブレット端末は令和3年9月から1人1台の環境が整備され、いつでも学習に活用できるようになった。タブレット端末を活用して意見交換をしたり、AIドリルで個別学習に取り組む場面があった。</p> <p>Web会議システムを活用して、児童生徒が集合しない学校行事を実施する取組が広がっている。また、Web会議システムで学校外とつないで授業や研修を実施する等、ICTの活用が広がった。</p> <p>ICTを活用した校務の効率化も進んでおり、ペーパーレスで会議を行う取組が広がっている。また、昨年度に続き、教職員の出張（会議や研修）について集合せず、Web会議やグループウェアでのデータ共有、動画配信による開催が定着してきた。</p> <p>また、ICT活用に関する研究指定校を2校指定し、ICTを効果的に活用した実践に取り組んだ。企業と連携し、学習支援アプリの活用を進め、市内小中義務教育学校をけん引できるよう研修等も開催し、教員の指導力向上を図った。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>児童生徒に、学習指導要領に基づいた資質・能力である「情報活用能力」を育まなければならない。また「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実のためICTを最大限に活用することができるよう教員の更なるスキルアップを図っていく。</p> <p>業務の効率化により子どもたちと向き合う時間を作り出すために、システムで統一できる業務フローは統一化し、校務支援システムの効果的な活用への理解を求めていく。</p> <p>「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に基づき、八千代市教育情報セキュリティポリシーをGIGAスクール構想の環境整備に合わせて改定し、周知していく。</p> <p>また、教育情報セキュリティ監査を実施するとともに、学校ホームページを効果的に活用できるよう理解及び対応を求めていく。</p> <p>令和7年度、教育ネットワークシステムの更新を迎える。新システムを円滑に使用できるよう、環境整備に力を入れていく必要がある。</p> <p>研究指定校の取組について、今年度は各校の情報教育主任を中心に発信したが、さらなる市内展開、ICT機器の普及を目指し事例発信を行っていく。</p>	

「ICT活用の推進」に対する評価

評価	評価の理由
B	<p>システムの活用が広がり、業務の効率化が進んでいる。また、タブレット端末や大型提示装置等のICT機器が整備されたことにより、授業改善に貢献している。</p> <p>一方で、児童生徒の情報活用能力の育成、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実のためのICT機器の更なる活用は今後の課題である。</p>

□取り組み（目標）

⑤ 豊かなこころの育成推進

- ・ 道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に捉え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成します。
- ・ 自他を尊重し合い、いじめや差別を許さない人権教育を進めます。
- ・ 集団宿泊活動や自然体験活動などを通じて、児童の豊かな情操及び社会性を育てます。

□令和6年度実績

学校人権教育研修会を実施し、学校人権教育の推進について協議を行った。
 人権擁護委員協議会主催の人権教室等を実施し、関係団体との連携を図り、児童生徒の人権意識向上の啓発を行った。
 小中義務教育学校では、「特別の教科 道徳」について、教科書に基づいた年間指導計画の作成、年間指導計画別葉の作成を行い、また、授業の改善向上を図れるよう、要請訪問や研修の際に指導した。
 校外学習や修学旅行等において、集団宿泊活動や自然体験活動を行った。

□今後の課題と取組

教職員の人権意識の向上を図るため、参加・体験型の手法を取り入れた効果的な研修を計画的に実施する。
 児童生徒の人権意識を高め、自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を育てるため、多様な体験・交流活動を充実させる。
 学校と地域、その他関係機関との積極的な連携を図り、思いやりのある豊かな心を育む児童生徒を育成する。

「豊かなこころの育成推進」に対する評価

評価	評価の理由
B	小中義務教育学校では、「特別の教科 道徳」において、授業改善が図られた。道徳教育さらには、教育活動全体の要として「特別の教科 道徳」の指導方法や評価方法等、研修を深めていく必要がある。 学校人権教育研修会を実施しているが、教職員の人権意識を高めるためにも、研修参加者が校内で情報を共有し、更に推進していく必要がある。

□取り組み（目標）

⑥ 郷土愛を育む教育の充実

・本市や千葉県の自然や歴史、文化、産業、ゆかりの人物に関する学習を通じて、郷土への誇りや愛着を深めます。また、過去から受け継がれてきた文化等を未来につなげ、より良い郷土にしていこうという想いを育みます。

□令和6年度実績

郷土読本編集委員会において、社会科副読本「わたしたちの八千代市」の編集を行った。古い写真や資料を更新して、児童にとって、より身近に感じるものとした。
八千代子どもサミットを開催し、「SDGsについて」をテーマに児童生徒の地域社会を大切にする心や地域社会のために主体的に行動していく力を育む活動に取り組んだ。

□今後の課題と取組

各教科の学習内容を、八千代市や千葉県の自然や歴史、文化、産業、ゆかりのある人物に関連付けながら、教科等横断的な視点で郷土への誇りや愛着を深められるようにしていく必要がある。また、酪農を紹介しているページを始め、現状にそぐわない資料や文章が存在する。
児童生徒が八千代市や千葉県を身近に感じることができるよう社会科副読本「わたしたちの八千代市」の資料を随時更新していく必要がある。
学校と地域が連携を図り、より良い郷土にしていこうとする心を育む児童生徒を育成する。

「郷土愛を育む教育の充実」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>郷土読本の内容を充実させることができた。古い写真や資料を更新し、よりわかりやすいものとすることができた。 八千代子どもサミットでは、SDGsをテーマとした、地域の実態に合った持続可能な活動を実践することができた。今後は、課題意識を高め、各学校、地域が連携する必要感を持たせていく必要がある。</p>

□取り組み（目標）	
⑦ 生徒指導と教育相談の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭・地域社会・関係機関との連携を深め、「積極的な生徒指導」を進めます。 ・「八千代市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を図り、いじめの根絶を目指します。 ・適応支援センターの効果的な運営により、不登校児童生徒の復帰を目指した支援・援助を行います。 ・日本語指導が必要な児童生徒の教育相談体制を充実させます。 	
□令和6年度実績	
<p>「八千代市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止等に係る組織を設置し、いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題対策調査委員会を開催した。</p> <p>子どもを守り育てるために、学校と家庭・地域社会・関係機関が連携できる体制づくりを進めた。また、各学校ごとに「学校いじめ防止基本方針」と「学校いじめ防止プログラム」を改定し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を組織的に行えるように生徒指導体制を整備した。</p> <p>不登校児童生徒への相談窓口を設け、適応支援センターや教育センターの機能を活用し、教育相談体制の充実に努めたほか、校内教育支援センターや関係機関との連携について各学校に周知し、不登校解消に努めた。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>いじめ問題対策連絡協議会及びいじめ問題対策調査委員会での協議内容を精選することで、学校のいじめ対応により生かせる内容にしていく。昨今のいじめを取り巻く状況を鑑み、「八千代市いじめ防止基本方針」等を随時見直していきたい。</p> <p>不登校児童生徒への支援やいじめ等に対する生徒指導体制を整えるためにも、教職員に対する研修を充実させていく。校内教育支援センターをより充実させるように学校へ周知を行うことや八千代市スクールソーシャルワーカーとも連携することを通じて、不登校児童生徒の支援を充実できるように努める。</p>	

「生徒指導と教育相談の充実」に対する評価

評価	評価の理由
B	<p>いじめ問題対策連絡協議会やいじめ問題対策調査委員会を運営し、関係機関が連携して専門的見地から意見交換を行った。</p> <p>「学校いじめ防止基本方針」と「学校いじめ防止プログラム」については、それぞれの学校で実態に合わせて改定した。</p> <p>長期欠席児童生徒の様子を丁寧に見取るために、今後も研修を充実させていく必要がある。特に、増加する不登校児童生徒への支援のために、校内教育支援センターの在り方や、関係機関との連携の在り方について周知した。</p>

(3) 特別支援教育の充実

担当課	指導課
□取り組み（目標）	
① 個に応じた支援の充実 ・自立と社会参加ができることを目標に個別の指導計画，個別の教育支援計画を作成し，就学前から就学後まで切れ目なく支援します。	
□令和6年度実績	
特別支援学級に在籍する児童生徒及び通級による指導を受ける児童生徒に，個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成し，関係機関との連携について確認したり目標を見直したりしながら個に応じた支援を行えるよう，教職員に向けて研修を行った。	
□今後の課題と取組	
教職員が保護者・関係機関等との連携を図りながら，個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成と活用を進められるよう，研修の充実を目指す。	

「個に応じた支援の充実」に対する評価

評価	評価の理由
B	特別な教育的ニーズのある児童生徒について，全ての小中義務教育学校で，個別の教育支援計画，個別の指導計画の作成と活用を進めている。 切れ目ない支援のために，保護者同意の下で，適切に引継ぎを進めるよう努めた。 個に応じた段階的な支援の検討や記載の仕方については，今後も研修等の取り組みを継続していく必要がある。

□取り組み（目標）	
② 支援のための環境整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級及び通級指導教室を計画的に整備し、特別支援学級については、全ての小中学校に設置することを目指します。 ・特別支援教育支援員等を適切に配置します。 	
□令和6年度実績	
<p>自閉症・情緒障害特別支援学級を1校新たに開設した。 令和5年度に引き続き、特別支援教育支援員を全小中義務教育学校に配置した。校内体制が充実したことで児童生徒の学ぶ意欲や安心感につながった。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>今後も、可能な限り必要とされる支援の場を整備していく。併せて、特別支援教育支援員・特別支援学級介助員の全校配置を継続する。 特別支援教育支援員・特別支援学級介助員の専門性を高める研修を充実させる。</p>	

「支援のための環境整備」に対する評価

評価	評価の理由
B	<p>特別支援学級と通級指導教室を計画的に整備することができている。 特別支援教育支援員・特別支援学級介助員の研修については、新たな担当者が増えていることから、どの担当者も同水準の支援が目指せるよう、引き続き研修を行う必要がある。</p>

□取り組み（目標）

③ 交流及び共同学習の推進

・共生社会の実現を目指し、児童生徒が障害の有無にかかわらず互いに認め合い、共に成長し、自立していくことの大切さを学ぶ、「交流及び共同学習」を推進します。

□令和6年度実績

市内小中義務教育学校特別支援学級合同作品展を、オーエンス八千代市民ギャラリーで開催し、通常の学級、特別支援学級、特別支援学校の児童生徒が互いに見合う機会をつくることができた。

□今後の課題と取組

交流及び共同学習において、学校全体で年間計画、目標等を作成し、通常の学級の教育課程に位置づけた計画的な取組を行うよう推進を図る。
インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を進める。

「交流及び共同学習の推進」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>通常の学級、特別支援学級、特別支援学校の児童生徒が、直接または間接的に交流及び共同学習を進められるよう、各学校や地域で工夫し、意欲的な取り組みが見られた。 今後もインクルーシブ教育システムの構築に向け、理解啓発を進めていく必要がある。</p>

(4) 体育・健康・安全に関する教育の充実

担当課

保健体育課

□取り組み（目標）

① 体育科教育の充実

- ・授業内容の充実と地域スポーツとの連携により、体力の向上を図ります。
- ・豊かなスポーツライフを実現する基礎を培い、一人ひとりの児童生徒がスポーツを「する人・観る人・支える（育てる）人」の視点を持ち、あらゆるスポーツ活動を通して、スポーツ文化の精神を醸成します。また、適切な休養や、合理的でかつ効率的な指導を大切に活動を進めます。
- ・オリンピック・パラリンピックを通してグローバルな視点でスポーツを捉えるとともに、スポーツと生活の関連を学ぶ機会とします。
- ・障害の有無にかかわらず、全ての人々が、同じ社会に生きる人間として、互いを正しく理解し、共に助け合い、共にスポーツを楽しめる環境を目指します。

□令和6年度実績

○児童生徒の体力の向上

- ・教員体育実技研修会の実施
初若年教員体育実技研修（19人参加）
教職員水泳実技研修（23人参加）

・小中学生の体力評価

「新体力テストの総合評価5段階のうち、上位3段階の児童生徒の割合」の目標値は中学生が80%、小学生が80%としているが、令和6年度の市内の結果は中学生が69.6%、小学生が65.4%であった。

○スポーツ、部活動の充実

- ・八千代市小中学校体育連盟への事業補助
小中学校体育連盟を支援し、児童生徒の健康増進・体力向上及び学校体育の充実に寄与した。
- ・部活動地域展開の推進
10校に13人の部活動指導員を配置し（3月末現在）、専門的指導が受けられる機会を確保した。

□今後の課題と取組

コロナ禍において低下したと考えられる児童生徒の体力が、現在も低下したままとなっている。

体育的行事や部活動のあり方について、改善が求められる中、体育科、保健体育科の学習の充実や地域と連携した運動機会の創出を図る必要がある。

「体育科教育の充実」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>新体力テストの結果は昨年度とほぼ横ばいであり、後退はしていないものの、取組の成果は十分とは言えない。</p> <p>また、部活動指導員の配置については、人員の確保や教員の兼職兼業制度を整えることが課題となっている。</p>

□取り組み（目標）

② 健康教育の充実

- ・児童生徒が生涯にわたり楽しく明るく活力ある生活を営むため、心身の健康に関する知識の理解や活動を通じて健康な生活を実践することができる資質や能力を育成することを目指します。
- ・薬物乱用防止、性に関する正しい知識の普及等を行う思春期保健、病気の予防などの健康課題に対する教育を充実させます。
- ・バランスの取れた食事及び食品ロスを減らす取組が、持続可能な社会づくりの大切な視点であることについて、学校給食を通じて指導します。
- ・学校給食センター西八千代調理場を拠点に児童生徒の食育の推進を図ります。
- ・本市の公立小中義務教育学校における食物アレルギー対応の基本方針と実施要領に基づき、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう食物アレルギーへの対応に努めます。

□令和6年度実績

- ・健康教育の充実
(保健体育課)

各学校において、学校の実態に合わせた学校保健計画を立案し、実施した。
具体的には、外部講師を招いた性教育の授業やがん教育、薬物乱用防止教室、学校薬剤師によるくすりの教育などを実施したり、八千代市歯科医師会の協力を得ながら歯科保健の推進と充実に努めたりした。

また、中学校及び義務教育学校と思春期保健ネットワーク会議が連携し、思春期の悩みに対する相談や正しい知識の相談資料の提供、配布を行った。

- ・食育の推進と安全・安心な学校給食の提供
(保健体育課)

各学校において、食に関する指導の全体計画、年間計画に基づいた指導を実施した。
学校給食において、市内産の食材を年間を通じて積極的に使用し、6月に「にんじんウィーク」、1月に「長ねぎウィーク」など特色のある取組を実施した。

各学校の食物アレルギーについて、緊急時の対応や、校内体制の確立を目的とした研修会を管理職、養護教諭、アレルギー担当教諭を対象に実施し、周知を図った。

(学校給食センター)

学校給食への理解を深めるための食育の一環として、教育センターと協力し、各学校でみることができる児童生徒や教職員向けのミニ動画を制作した。また、各学校の教室にある大型提示装置(電子黒板)やタブレットを使用することで、食育へのICT利活用の推進を図った。

- 食育の推進として、小学校・中学校・義務教育学校に訪問授業を行った。
- 地産地消の取組として6月に「にんじんウィーク」、1月に「長ねぎウィーク」を実施した。
- 学校給食への理解を深めてもらうため、西八千代調理場の見学受入れを積極的に行うことにより、食育の推進を図った。
- 西八千代調理場における施設見学：校外学習（小学校7件466人・中学校2件178人）、市民見学 9件・64人
- 食物アレルギー対応食提供者：60人(内訳：西八千代50人・東八千代10人)（令和7年3月）

【給食提供数】 ※年間延食数

・西八千代調理場		・東八千代調理場	
小学校	126万5,187食	小学校	64万2,952食
中学校	55万6,372食	中学校	32万6,192食
計	182万1,559食	義務教育学校	10万2,859食
		計	107万2,003食

(保健体育課・学校給食センター共通)

安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を提供するため、安全・安心な食材の購入、納品時の検収など、衛生管理を徹底して行った。

地産地消（八千代市産）への取組として、年間を通して米を使用し、収穫時期に応じて、にんじん、長ねぎを使用した。

□今後の課題と取組

・健康教育の充実

(保健体育課)

令和7年度は、外部講師を招いた健康教育の実施校の増加を図る。また、薬物乱用防止教室の中学校及び義務教育学校（後期課程）での完全実施に加え、小学校及び義務教育学校（前期課程）でも、くすりの教育を含め、より多くの学校で実施することを目標とする。

令和7年度より思春期ネットワーク会議が八千代市小中義務教育学校思春期保健教育推進会議に移管したことから、これまでのリーフレットの配布等に加え、市内小中義務教育学校と情報交換をしながら、思春期保健教育の推進を図る。

・食育の推進と安全・安心な学校給食の提供

(保健体育課・学校給食センター共通)

食育の推進のための栄養教諭、学校栄養職員による訪問授業を実施する。

学校給食の内容等の充実、安全・安心のための食材の衛生管理の徹底に努める。

喫食状況の視察を行い、学校給食の内容等の充実、効果的な食に関する指導の充実につなげる。

「健康教育の充実」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>(保健体育課・学校給食センター)</p> <p>外部講師を招いた健康教育の実施校が増加している。今後も関係機関と連携し、思春期保健や歯科保健の推進等、健康教育の充実を図っていききたい。</p> <p>また、食育についても、西八千代調理場の施設見学の積極的な受け入れ及び、給食に係る動画の制作やホームページへの給食レシピの掲載を充実させ、食育及びICTの利活用の推進を図っていききたい。</p>

□取り組み（目標）

③ 安全教育の充実

・児童生徒が生涯にわたって安全な生活を送るための危険予知・回避の能力を育てる安全教育を推進します。

□令和6年度実績

各学校において、年度始めに「小中学校危機管理マニュアル」の周知徹底を図った。
 小学校においては1年生で歩き方教室、4年生で自転車教室、交通安全映画会を実施し交通安全の意識向上に取り組んだ。
 スクールガードリーダー連絡協議会を定期開催し、児童生徒の登下校の見守り活動の充実に努めた。スクールガードリーダーを可能な限り配置した。
 通学路安全対策プログラムをもとに通学路整備検討会を定期開催し、関係部局及び関係機関と連携のもと、通学路の整備の推進に努めた。（各学校からの通学路整備要望箇所79箇所（内訳：整備済み12箇所、整備予定20箇所、検討中6箇所、要望中8箇所、整備困難22箇所、その他11箇所））

□今後の課題と取組

Jアラートや犯罪予告など、新たな危機事象への対応が求められている。
 令和7年度においては、学校の危機管理マニュアルの一斉点検を行い、学校の安全体制の確立に努める。
 スクールガードリーダー連絡協議会と連携し、児童生徒の登下校の安全体制の充実に努める。

「安全教育の充実」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>スクールガードリーダーと情報交換し、児童生徒の安心安全な登下校に努めることができた。 各校において、歩き方教室、自転車教室、交通安全映画会、不審者侵入等に対応した避難訓練を実施し、安全教育の推進を図ることができた。 通学路の安全については、保護者の関心が高く要望も多い。しかし、整備が困難な箇所もあるため、現状の理解を促す必要もある。</p>

高校・大学教育

(1) 大学等教育機関との連携

担当課	指導課・生涯学習振興課
□取り組み（目標）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学校，高等学校，大学，特別支援学校の教職員が，教育的課題について議論し，各校の実態を把握することで，有機的に連携します。 ・秀明大学等の教員を志望する学生を小学校の授業の支援者として受入れ，教職体験の機会を設けます。 ・大学が有する質の高い教育資源を地域社会で活用できるよう，連携を強化し，大学の地域社会への開放を促します。 	
□令和6年度実績	
<p>(指導課) 8月に市内の小中義務教育学校，千葉県立及び私立高等学校，大学が連携し，「八千代教育サミット」が開催された。</p> <p>大学の学生「ドリームティーチャー」に対して研修を行った。学生は，市内小中義務教育学校等に配置され，各校の授業の支援を行った。</p> <p>(生涯学習振興課) 秀明大学と連携し，大学祭で実施する公開講座について，広報やちよ等で周知を行った。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>(指導課) 「八千代教育サミット」は，各校長等が校種を越えて，マネジメント力を高めていける機会として，更に深め合うことができる場にしていくことが必要である。</p> <p>「ドリームティーチャー」は，研修の内容の充実を図る必要がある。</p> <p>(生涯学習振興課) 引き続き教育資源を地域社会で活用できるよう，公開講座の周知に努める。</p>	

「大学等教育機関との連携」に対する評価

評価	評価の理由
B	<p>(指導課) 「教育サミット」では，各校種の校長等が連携のために，有意義な協議ができるように進めることができた。</p> <p>「ドリームティーチャー」については，研修を通して目的をもって各学校の活動に取り組む学生が多かった。</p> <p>(生涯学習振興課) 広報やちよ，市ホームページ，やちよ情報メール，市LINEで周知することにより，102人が参加し，生涯学習活動の推進につながった。</p>

青少年健全育成

(1) 青少年健全育成支援体制の整備

担当課	生涯学習振興課
□取り組み（目標）	
① 組織体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年問題協議会を中心に、家庭や学校・地域・関係機関などと連携を深めながら、学校外活動を推進するなど指導・育成体制の充実を図ります。 ・ 青少年相談員や青少年指導員を委嘱し、健全育成活動に関わるボランティアの育成を図ります。 	
□令和6年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年8月に青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成支援体制の整備等をまとめた「青少年対策の概要」について意見交換を行い、青少年関係機関等に配布した。 また、「八千代市における少年犯罪の発生状況等」をテーマとした講義を行った。 ・ 学校外活動の推進としては、青少年学校外活動支援事業実行委員会（8団体）の活動に対する支援として、活動場所や消耗品の提供を行った。 ・ 第21期青少年相談員は20校区で110人を委嘱、第16期青少年指導員は9地区で延べ126人委嘱した。 	
□今後の課題と取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年問題協議会で「青少年対策の概要」について意見交換した内容を、同概要に反映し、青少年関係機関等に配布する。 ・ 多様化する青少年問題に対応するため、専門講師による研修会を開催し、青少年の問題についての理解を深めたい。 ・ 学校外活動支援事業、青少年相談員及び青少年指導員については、活動に対する支援を継続する。 	

「組織体制の充実」に対する評価

評価	評価の理由
B	青少年問題協議会において、青少年を取り巻く社会問題の共有や情報交換等を行い、青少年関係機関等の連携を深めることができた。

□取り組み（目標）

② 地域力の強化

・指導者の養成に必要な知識、技術の研修を行うなど、地域の指導者育成や関係団体の活動を支援します。

□令和6年度実績

・指導者の養成講座として、青少年団体指導者養成講座「友・遊・カレッジ」、地域の指導者育成として、青少年学校外活動支援事業実行委員会の実行委員を対象に「安全管理講習会」及び「レクリエーション研修会」を開催した。
 ・「友・遊・カレッジ」は、青少年と関わるための安全管理や野外炊飯等の基礎知識を年間5回の講座で実施し、指導者の養成やレベルアップを図った。（参加者 大人40名 児童21人）
 ・安全管理講習会は「子どものストレス対処法」をテーマに、ストレスが多いと言われる現代社会のストレスの内容や、その対処法について学んだ。（参加者 11名）
 ・レクリエーション研修会は「アイスブレイキングに役立つ「簡単マジック」を習おう」と題し、簡単に学べるマジックの実践を行った。（参加者11名）

□今後の課題と取組

青少年との関わり方や課題が年々変化している。引き続き、講座、研修に対するニーズを考慮し、受講者の要望や意見を取り入れながら、研修等の開催を継続していく。

「地域力の強化」に対する評価

評 価	評価の理由
B	講座等を計画どおり開催し、地域の指導者育成や関係団体の活動を支援できた。

□取り組み（目標）

③ 青少年育成施設の充実

- ・ 青少年が自然の中で遊びながら学べる体験学習の場の提供を図ります。

□令和6年度実績

市内の少年関係団体及び中学生以下の少年がいる家族を対象に「ガキ大将の森」キャンプ場を自然体験の場として提供した。
 ・ 利用件数：80件 利用人数：2,051人

□今後の課題と取組

ガキ大将の森キャンプ場は開設から30年以上経過しており、施設が老朽化している。このことから、運営方法・自然体験の場の確保について検討し、方針を決定します。

「青少年育成施設の充実」に対する評価

評 価	評価の理由
A	年間を通して、青少年が活動する場として「ガキ大将の森」キャンプ場を提供した。

(2) 青少年の自立支援体制の推進

担 当 課	生涯学習振興課
□取り組み（目標）	
① 地域社会活動への参加の促進 ・ 青少年がボランティア活動などを通じて、社会のルールや自ら考え行動する力を身につけ、社会的に自立できるよう支援します。	
□令和6年度実績	
令和7年1月12日（日）に成人式を実施し、1,384人の参加者があった。 青年たちで結成したプロジェクトチームが式典、記念行事の司会進行、運営を行った。	
□今後の課題と取組	
プロジェクトチームは、自発的な参加を求めており、人数が少ない場合には活動が制限される。 プロジェクトチーム応募者が少数の場合でも、人数に合った運営方法を検討する。	

「地域社会活動への参加の促進」に対する評価

評 価	評価の理由
B	青年たちの司会進行、運営は成功し、成人式当日は概ね計画どおりに実施することができた。自ら考え行動する力を身につけ、社会的に自立することができた。

□取り組み（目標）

② 非行防止対策・自立支援の推進

・青少年の非行防止のため、相談や指導体制の充実を図り、街頭指導などの補導活動を推進します。また、再び非行を犯さないよう、地域の人々や関係団体と連携をとりながら、多様な立ち直りの支援を推進します。

□令和6年度実績

青少年センターでは少年の非行問題に関する相談窓口を設置しており、相談内容に応じて専門機関を紹介する等の対応を行った。

各種街頭補導（地区補導・センター補導）及び八千代市学校警察連絡委員会（学警連）を中心としたパトロールを実施し、学校や関係機関と連携を図りつつ、非行防止及び被害防止に努めた。

非行が認められた児童生徒については、該当校に経過について様子を聞いたり、関係機関との会議を通して情報収集を行ったりする等、必要に応じて学校と情報を共有した。

□今後の課題と取組

ネットトラブルへの相談については、職員のSNSに対する知識の更新及び関連情報収集に努めていく。令和6年度にはインターネットに起因するトラブルから児童生徒を守り、SNS等を適切且つ肯定的に活用できるように指導することを目的とし、高校生を指導員としたネット安全教室を、市内小中学校で3回実践した。

街頭補導については、学校や警察と連絡調整しつつ、継続的に実施していく。

また、学校や補導委員、関係機関と連携を更に深め、非行防止及び被害防止を図る。

「非行防止対策・自立支援の推進」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>相談件数は1件であったが、適切に対応できた。</p> <p>令和6年度もPTAと連携して「ふるさと親子祭り」会場内及び周辺のパトロールを実施することができた。</p> <p>今後も学校や補導委員、関係機関と情報共有しながら、非行防止の推進を図っていく。</p>

(3) 青少年による自主活動の推進

担 当 課	青少年センター
□取り組み（目標）	
① 社会環境の健全化の推進 <p>・ 青少年の健全な環境づくりのために講演会を開催するなど、地域の関係団体と連携し、SNSなどの適正な利用や有害図書対策、薬物乱用防止などの啓発活動を推進します。</p>	
□令和6年度実績	
<p>学校警察連絡委員会の研修では、京葉地区少年センターから講師を招き、「学校として青少年の非行にどう関わればよいか」について講演会を開催し、具体的な事例をもとに各関係機関との連携体制について理解を高めることができた。</p> <p>令和6年度は有害図書等の陳列についての連絡は0件だったが、今後も関係機関と連絡を取り、早急に対応できるよう連携を深めていく。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>青少年の健全育成の為、学校警察連絡委員会での研修会を今後も実施していく。</p> <p>青少年ネット被害防止対策事業（ネットパトロール）の報告を注視し、事案が発生したら速やかに該当校へ連絡し、専門機関に繋げていけるようにしていく。</p> <p>また、今後考えられるネットトラブルの事例について会議、専門書等を通して知識を習得し、積極的に発信していくとともに、ネット安全教室の開催に向けて準備を進める。</p> <p>有害図書の陳列状況については、学校や補導委員からの情報収集に努める。</p>	

「社会環境の健全化の推進」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>SNSの適正利用については課題が多様化しており、青少年センターにはネットに関する専門職員が不在の為、速やかに専門機関とつなげることが必要となる。個人情報に関わるため、取扱いについても慎重に対応することが求められる。今後も関係機関と連携を図りながら、社会環境の健全化に努めていく。</p>

□取り組み（目標）

② 青少年による自主活動の推進

・「八千代市子ども憲章」の目標を日頃の生活の中で実践し、また様々な交流活動を通じて、青少年の視野を広め、親睦・友好を深めるとともに、自主的な参加と活動を推進します。

□令和6年度実績

市内小学校の1年生、4年生を対象に子ども達が、子ども憲章の主旨を理解して、努力目標として掲げた6項目について自ら実践できるよう「八千代市子ども憲章」カードを配布した。また、青少年育成団体の行事等でもカードを配布し、子ども憲章の周知を図った。

□今後の課題と取組

子ども達自身が考えた6つの努力目標が「八千代市子ども憲章」として引き継がれていき、「まちづくり」への子どもの参画を図っていく。

「青少年による自主活動の推進」に対する評価

評 価	評価の理由
B	市内小学校の1年生、4年生を対象として「八千代市子ども憲章」を広く周知することができた。また、青少年育成団体の行事でも配布し、周知対象を広げることができた。

生涯学習

(1) 市民の学びの支援

担当課	生涯学習振興課・郷土博物館																																													
□取り組み（目標）																																														
① 市民のニーズに対応した学習機会の提供																																														
<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりの必要な知識が得られるよう、学習機会の充実に努めます。 																																														
□令和6年度実績																																														
<p>（生涯学習振興課）</p> <p>総合生涯学習プラザ主催講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども書き初め講座：参加者数 16人 ・はじめてのスマホ教室：参加者数 12人 ・市民カレッジ歴史講座：全3回，参加者数延べ74人 ・スポーツ栄養学教室：9人 <p>家庭教育講演会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回家庭教育講演会 「子どもを理解する視点を広げよう～感覚統合・心の理論～」 参加者数：50人 ・第2回家庭教育講演会 「夢をかなえる食生活～食事で変わる子どもの未来～」 参加者数：48人 ・家庭教育講座 「親子であそぼう！～こどもの世界が広がる遊びとおとなの関わり方～」 参加者数：9組（22人） <p>（郷土博物館）</p> <p>各世代に興味を持たれる講座・講演会等を開催し、学びの場を提供した。また、企画展に関連し、理解を図るための展示解説会や現地見学会を開催した。</p> <table border="0"> <tr> <td>・企画展関連行事</td> <td>3回</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>・やちよの民俗行事</td> <td>1回</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>・古文書講座（入門編・初級編・中級編・番外編）</td> <td>7回</td> <td>195人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※番外編は雨天のため中止。</td> </tr> <tr> <td>・やち博講座</td> <td>4回</td> <td>172人</td> </tr> <tr> <td>・昔遊び体験</td> <td>4回</td> <td>86人</td> </tr> <tr> <td>・子ども体験教室</td> <td>3回</td> <td>77人</td> </tr> <tr> <td>・博物館シアター</td> <td>1回</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>・植物標本づくり講座</td> <td>2回</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>・自然観察会</td> <td>1回</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>・文化財散歩</td> <td>2回</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>・博物館上映会</td> <td>1回</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>・地域における子どもたちへの学習支援</td> <td>11回</td> <td>564人</td> </tr> <tr> <td>・講師派遣</td> <td>17回</td> <td>388人</td> </tr> <tr> <td>・小中学校対応（出前授業・来館）</td> <td>54回</td> <td>3,718人</td> </tr> </table>		・企画展関連行事	3回	29人	・やちよの民俗行事	1回	23人	・古文書講座（入門編・初級編・中級編・番外編）	7回	195人	※番外編は雨天のため中止。			・やち博講座	4回	172人	・昔遊び体験	4回	86人	・子ども体験教室	3回	77人	・博物館シアター	1回	46人	・植物標本づくり講座	2回	32人	・自然観察会	1回	14人	・文化財散歩	2回	46人	・博物館上映会	1回	13人	・地域における子どもたちへの学習支援	11回	564人	・講師派遣	17回	388人	・小中学校対応（出前授業・来館）	54回	3,718人
・企画展関連行事	3回	29人																																												
・やちよの民俗行事	1回	23人																																												
・古文書講座（入門編・初級編・中級編・番外編）	7回	195人																																												
※番外編は雨天のため中止。																																														
・やち博講座	4回	172人																																												
・昔遊び体験	4回	86人																																												
・子ども体験教室	3回	77人																																												
・博物館シアター	1回	46人																																												
・植物標本づくり講座	2回	32人																																												
・自然観察会	1回	14人																																												
・文化財散歩	2回	46人																																												
・博物館上映会	1回	13人																																												
・地域における子どもたちへの学習支援	11回	564人																																												
・講師派遣	17回	388人																																												
・小中学校対応（出前授業・来館）	54回	3,718人																																												

□今後の課題と取組

(生涯学習振興課)

・総合生涯学習プラザ主催講座
多様なニーズに対応した様々な講座を実施し、生涯学習ボランティアバンク制度の講師を活用するなど、人材交流の活性化を図っていく。

・家庭教育講演会
アンケート等から市民のニーズをくみ取り、家庭教育講演会により関心を持ってもらうことで、今後も参加者の増加につなげていく。

(郷土博物館)

市民への学習機会の提供については、学芸担当職員や講師等と開催時期や内容等を相談の上、今後も継続して進めていきたい。

「市民のニーズに対応した学習機会の提供」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>(生涯学習振興課) 生涯学習ボランティアバンク制度の登録講師や指定管理者、他部署職員等の協力により、総合生涯学習プラザ主催講座を開催した。 家庭教育講演会については、例年どおり2回開催し、参加者の延べ人数は、前年度に比べ増加した。</p> <p>(郷土博物館) 幅広い世代や様々な経験を有する方々に応じた事業展開ができた。</p>

(2) 学びを通じた交流と成果の還元

担当課	生涯学習振興課
□取り組み（目標）	
① 学習成果を活用した交流の支援 ・学習の成果が広く活かせる仕組みを構築するとともに、学びを通じた交流活動について支援していきます。	
□令和6年度実績	
市内9公民館中，8公民館において公民館まつりを開催した。 サークル活動の発表の場として，館内での学習作品展示，演技発表をおこなった。	
□今後の課題と取組	
公民館で活動する登録サークルの学習成果の発表の場としていた「公民館まつり」は，高齢化に伴う負担増など，開催方法について各団体と協議を継続していく。また，公民館まつり以外の方法による学習成果の発表や，地域との交流・啓発についても検討していく。	

「学習成果を活用した交流の支援」に対する評価

評価	評価の理由
B	サークル活動の発表の場として，9館中8館において公民館まつりを開催することができたが，参加サークル数や規模の縮小などがみられた。

□取り組み（目標）

② 団体活動の支援と学習成果の地域還元促進

・活動機会拡充の支援や情報提供など、団体の活動の支援を図ることにより、学習成果が地域に還元されるように取り組みます。

□令和6年度実績

ボランティアが人生で得た知識や技術を幼児・児童・生徒などに伝える「ふれあい教室」を以下のとおり実施した。

合計実施件数	59件	合計参加者数	2,584人	合計指導者数	545人
折り紙	26件	延べ参加者数	1,187人	延べ指導者数	184人
囲碁	1件	延べ参加者数	19人	延べ指導者数	1人
日本の伝統と江戸しぐさ	2件	延べ参加者数	41人	延べ指導者数	4人
長寿会交流（昔の遊び）	30件	延べ参加者数	1,337人	延べ指導者数	356人

□今後の課題と取組

令和5年度との比較では、実施件数・参加者数ともに増加となっているが、コロナ禍前と比較すると半減している。
 実施団体の減少のほか、継続している団体についても実施可能日が減少していることなどが原因と考えられることから、ボランティア指導者の増加を図るため、会員募集等を周知する。

「団体活動の支援と学習成果の地域還元促進」に対する評価

評価	評価の理由
B	世代間での交流の場を提供し、地域活動への参加推進や学習機会の充実に繋がった。

□取り組み（目標）

③ 人材の育成・確保・活用の体制整備

- ・地域で活動するリーダーやボランティアなどの人材育成を推進します。
- ・ボランティアを中心とした人材の活用制度について十分な周知に努め、ボランティアを求める需要者と適切にコーディネートする体制の整備を図ります。

□令和6年度実績

- ・生涯学習ボランティアバンク制度
ホームページ（市，総合生涯学習プラザ）への掲載や生涯学習施設・主催講座・市内イベントでのチラシ配布により，生涯学習ボランティアバンク制度の周知に努めた。
利用件数3件，利用人数は延べ31人であった。また，登録講師は21人となった。
- ・まちづくりふれあい講座
受講希望者が主催する講座に市職員が講師として出向き，市の事業・施策のほか専門知識や技能を活かした講義等を行う。
登録講座数 68講座 開催回数 294回
延べ参加者数 7,829人

□今後の課題と取組

- ・生涯学習ボランティアバンク制度
利用件数の増加を図るため，教えたい人と学びたい人とのマッチングを実施（主催講座における講師への積極的な活用等）するほか，引き続き制度周知に努め，本制度の活用促進を図っていく。
- ・まちづくりふれあい講座
各部署との調整・連絡を密に行うとともに，今後もより多くの方に利用してもらえよう，制度周知に努め，本制度の活用促進を図っていく。

「人材の育成・確保・活用の体制整備」に対する評価

評価	評価の理由
B	<p>生涯学習ボランティアバンク制度の周知に努め，講師を活用して主催講座の実施を行ったが，前年度の利用規模を下回った。</p> <p>一方，まちづくりふれあい講座では，開催回数・延べ受講者数が前年度に比べて増加した。</p>

(3) 市民の学びの環境整備

担当課	生涯学習振興課
□取り組み（目標）	
① 生涯学習関係施設の整備・充実	
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習関係施設の機能や役割について見直しなどを行うとともに、市民のライフスタイルの多様化に合わせた利用方法等の改善に努め、利便性の向上を図ります。 	
□令和6年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> 図書館 中央図書館の自動出納書庫整備工事及び老朽化した八千代台図書館の玄関庇改修工事を行う等、適切な維持管理に努めた。 公民館 定期点検時に指摘のあった照明器具や消防設備の修繕等、施設の不具合箇所の改修を行い、適切な維持管理に努めた。 	
□今後の課題と取組	
<ul style="list-style-type: none"> 図書館 市民等が安心・安全に施設を利用できるよう、必要に応じて施設の修繕等を行い、生涯学習環境の維持・向上を図る。 公民館 市民等が安心・安全に施設を利用できるよう、引き続き、施設の不具合箇所の改修を行う。 	

「生涯学習関係施設の整備・充実」に対する評価

評価	評価の理由
A	図書館の修繕・改善を行い、利用環境の維持・向上を図った。 公民館についても、各施設必要な修繕の実施等適切な維持管理に努めたため。

□取り組み（目標）

② 情報提供の充実

- ・市ホームページ，生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」，広報紙のほか，SNS等を積極的に活用し，情報提供の充実に努めます。
- ・関係部署と連携し情報の共有化を図った上で，市民の求める情報を適切に提供する学習相談を行います。

□令和6年度実績

「まなびネットやちよ」において，他部署等から収集した講座・教室情報掲載や団体・サークルや指導者に係る情報を適宜更新し，ウェブ上において情報提供に努めた。
 また，施設内でのチラシ等配架やパネル展示により生涯学習情報を提供するとともに，学習相談・情報提供コーナーに設置する市民閲覧用パソコンを活用した利用者による自発的な情報収集・学習活動に取り組めるよう支援した。

□今後の課題と取組

「まなびネットやちよ」をはじめとする，市が発信する生涯学習情報の認知度が低いことが課題となっているため，発信方法の工夫や掲載情報を充実させ，より効果的かつ身近な場所で生涯学習情報を得られる環境整備について検討し，市民のライフスタイルの多様化にも合わせた生涯学習情報を提供していく。

「情報提供の充実」に対する評価

評価	評価の理由
B	「まなびネットやちよ」，「広報やちよ」，SNS等により情報提供を実施したため。

(4) 地域社会と連携し、共に歩む教育への支援

担当課	生涯学習振興課
□取り組み（目標）	
① 地域社会と連携した教育への支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会が学校や家庭と連携・協働する「地域学校協働活動」を支援します。 	
□令和6年度実績	
<p>令和8年度までに市内小中義務教育学校全ての学校へコミュニティ・スクールの設置をするとともに地域学校協働本部の設置に向け、対象学校の教職員や保護者、地域住民へ説明及び周知を行い、2校に新たに組織化した。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>コミュニティ・スクールの設置は順調に進んでいるが、地域学校協働活動については、コーディネーターとしての人材の確保や活動状況について地域で差があるため、人材の発掘や活動団体等の繋がりを促進していく必要がある。</p>	

「地域社会と連携した教育への支援」に対する評価

評価	評価の理由
B	<p>コミュニティ・スクールの設置は進む一方で、地域学校協働本部の組織化に時間を要した。</p>

市民文化

(1) 文化活動の推進

担当課	文化・スポーツ課
□取り組み（目標）	
① 文化芸術団体、グループ等の育成及び支援	
<p>・地域における市民の自主的な文化活動を振興するとともに、優れた文化芸術を身近に触れる機会を醸成するため、市内の文化芸術団体の育成と活動の支援を行います。</p>	
□令和6年度実績	
<p>令和6年度についても市民文化祭を開催した。文化団体や市内の学校、公民館を含め31団体が参加し、参観者数は31,385人であった。 また、市民文化祭を開催するにあたり、市民が自主的に参画することができるよう、広報等を活用し広く文化祭参加者を募集した。</p>	
□今後の課題と取組	
<p>文化団体構成員の高齢化や公民館まつりの担い手の高齢化により、市民文化祭の参加者や参観者数が減少傾向であることが課題だが、ちらしやホームページ等での情報発信により、新規で参加を希望する団体からの問い合わせも増加しており、コロナ禍以前の開催状況に徐々に近付いていくものとする。</p>	

「文化芸術団体、グループ等の育成及び支援」に対する評価

評価	評価の理由
B	市民団体の貴重な活動発表の機会として、市民文化祭を実施できたため。

□取り組み（目標）

② 文化活動の機会の充実

・市民文化祭を始め、多彩な文化的行事を開催し、市民が優れた文化芸術を学び鑑賞する機会の提供及び創作・発表する機会の充実を図ります。

□令和6年度実績

芸術鑑賞の事業として、市民文化祭や市民ギャラリー、勝田台ステーションギャラリー等での市民団体主催の展示会、市民会館や勝田台文化センターでの音楽イベント等を開催することができた。体験型の事業として、市民ギャラリーでの各種絵画教室など文化芸術を創造する多彩な子供向け講座などを実施できた。

また、市民ギャラリーにおいて、市民文化祭ポスターデザイン画の応募作品を展示すると同時に、市民文化祭の周知も行った。

□今後の課題と取組

今後についても、文化施設の指定管理者と連携を図り、できるだけ多くの芸術に接する機会を提供するとともに、市民が参加しやすい事業に取り組んでいく。

「文化活動の機会の充実」に対する評価

評 価	評価の理由
A	各文化施設において様々な自主事業や企画展を企画し、市民が鑑賞並びに参加できる機会を提供できたため。

□取り組み（目標）

③ 文化芸術に関する情報の発信とネットワーク化

・市内の各種団体及び文化施設の指定管理者との連携を図り，文化芸術に関する情報を届けます。

□令和6年度実績

市民文化祭や市民団体が開催する各種イベントの情報を市民文化団体や指定管理者と共有しつつ，広報や市ホームページ等に情報発信を行うことができた。

□今後の課題と取組

今後も市内の文化団体や指定管理者と情報交換を行いながら，市民に対し情報発信していく。

「文化芸術に関する情報の発信とネットワーク化」に対する評価

評 価	評価の理由
A	文化芸術情報の発信を，広報による紙媒体のみではなく，ホームページや情報メール等のインターネットを使った広報活動や新たにLINEを使った広報活動を実施できたため。

(2) 文化芸術施設の活用・充実

担当課

文化・スポーツ課

□取り組み（目標）

① 文化芸術施設の管理・運営

- ・市民の多様な文化活動のニーズに対応するため、施設の活用・充実に努めます。
- ・文化芸術施設において、市の収蔵美術品の紹介や市民の美術作品発表の機会の提供を図ります。

□令和6年度実績

市民会館や文化センターでは、音楽や舞踏を中心に、市民芸能祭や各団体と共催で実施する事業、落語家及び演歌歌手並びに演奏者等を迎えた事業等、市民が多彩な文化芸術に触れる機会を提供することができた。

市民ギャラリーでは常設展示室での企画展示、また、展示室での市民美術展をはじめとする市民の美術作品発表の機会を提供することができた。

□今後の課題と取組

新規利用者の獲得を含む利用促進や市民の文化芸術の機会提供を図っていくことが課題である。

「文化芸術施設の管理・運営」に対する評価

評価	評価の理由
A	文化施設の利用者数等も増加し、市民が文化芸術に触れる機会を提供できたため。

文化財

(1) 文化財の保護と活用

担当課	文化・スポーツ課 (文化財班)
□取り組み(目標)	
① 文化財調査の推進	
<ul style="list-style-type: none"> 文化財の調査・研究に努め、重要なものを市の文化財に指定し、保護と活用を図ります。 	
□令和6年度実績	
<p>開発に伴う各種発掘調査を実施するとともに、調査終了した遺跡については整理作業を行い、報告書を刊行した。 また、市指定文化財候補の文化財の調査・研究を行った。</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内遺跡等発掘調査(国庫補助事業) 13件, 報告書刊行1件 不特定遺跡埋蔵文化財発掘調査 本調査1件 民間開発等埋蔵文化財調査事業 <ul style="list-style-type: none"> 本調査2件(白幡前遺跡k地点, 白幡前遺跡n地点) 本整理2件(白幡前遺跡k地点, 白幡前遺跡n地点) 報告書刊行1件(白幡前遺跡n地点) 市指定文化財候補調査(桑納威光院「妙法蓮華経納経塔」, 正覚院館跡出土青銅製花瓶等) 	
□今後の課題と取組	
<p>埋蔵文化財発掘調査を滞りなく実施していく中で、市として保護すべき文化財の調査を適切に実施していく必要があることから、発掘調査方法の研究を行うとともに幅広く市内に存在する文化財の情報を収集していくことが必要である。</p>	

「文化財調査の推進」に対する評価

評価	評価の理由
A	多くの埋蔵文化財発掘調査を着実に実施していく中で、市文化財指定に向けた調査を実施することができた。

□取り組み(目標)

② 文化財の保護

- ・文化財を次代に継承していくため、文化財保護の普及・啓発に努めるとともに、維持管理の支援やその後継者の育成を図ります。
- ・地域の文化財への認識を深めるため、説明板の設置などにより文化財に関する関心や理解の向上を図ります。

□令和6年度実績

普及・啓発事業として、各種情報の提供、埋蔵文化財通信「埋やちよ」発行、文化財通信「財やちよ」発行、講師派遣、遺物の展示等を実施した。

【具体的な取組】

- ・埋蔵文化財通信「埋やちよ」発行2回
- ・文化財通信「財やちよ」発行1回
- ・講師派遣 6回
- ・文化財説明板設置(村上の神楽・羯鼓)
- ・発掘現場見学会の開催

□今後の課題と取組

普及・啓発活動の継続と新たな手段等を研究し実施していく。
文化財説明板の設置を計画的に実施していく。

「文化財の保護」に対する評価

評価	評価の理由
A	普及啓発の新たな取り組みを行う等、一定程度の文化財の保護・普及を図ることができた。

□取り組み（目標）

③ 伝統文化の継承

・社会や環境の変化に伴い変貌している伝統文化について、映像や音声により記録を保存するとともに、途絶えてしまった伝統文化の復活に向けた資料の調査・研究に努め、その継承と後継者の育成を図ります。

□令和6年度実績

市内に残る民俗行事について、文化・スポーツ課文化財班及び郷土博物館と連携して、映像・音声記録を行い、その報告を兼ねて伝承館において映像記録を紹介する講座を実施した。

八千代の民俗文化再発見 1回 人数12名

□今後の課題と取組

今後も記録と報告を継続する。また、保存資料の再調査についても進めていく。

「伝統文化の継承」に対する評価

評 価	評価の理由
B	市内に残る伝統的民俗行事の映像記録化を実施した。また、昨年に引続き報告会を講座として実施した。

(2)文化資料の収集・保存・活用

担当課

郷土博物館・文化伝承館

□取り組み（目標）

① 保存・展示施設の充実

- ・文化財の適切な保存・管理を図るとともに、一般公開や企画展の開催のため、保存・展示施設の充実を図ります。
- ・伝統文化の保存伝承及び後継者の育成のため、郷土博物館、文化伝承館の有効活用と適切な維持管理を図ります。

□令和6年度実績

（郷土博物館）

- ・展示施設の充実

【具体的な取組】

- ・資料の修補 令和6年度実施回数 36回
当館には約3万点の古文書等が保管されているが、収蔵品の中には虫損や汚れ等により遺存状態が良好ではない物もあり、古文書等を将来へ伝えていくため、定期的に修補を行っている。
- ・常設展示
例年新たな展示パネルへの更新、野外展示の石造物への解説板製作等を行ってきたが、6年度は、常設展示室の解説資料の更新などを行った。
- ・伝統文化の保存伝承及び後継者の育成

【具体的な取組】

- ・竹細工同好会
竹細工作品展 期間：令和7年3月4日（火）～16日（日）利用者数：180人
「竹細工同好会」会員の作品の展示に加え、アンケート及び一部の作品の配布を行い「竹細工」の普及を図った。
- ・篆刻同好会
篆刻作品展 期間：令和7年3月12日（水）～20日（木）利用者数：104人
「篆刻同好会」の会員が制作した印章、印影などを展示した。

（文化伝承館）

市民に伝統文化活動などの場を提供した。

【具体的な取組】

- ・開館日数 260日
- ・伝統文化団体の利用 356回 3, 312人
- ・その他の団体の利用 128回 2, 065人
- ・見学・遊具利用など 1, 315人

□今後の課題と取組

(郷土博物館)

収蔵している資料の保管や修繕，分類整理を進めながら，企画展等の展示機会での収蔵品の活用を進めるとともに老朽化している施設の修繕を進める事で伝統文化等の活動団体も活動しやすい環境になるよう努める。

(文化伝承館)

経年劣化による不具合が生じている部分も有る事から、これらを修繕し，快適な環境で活動していただけるように努める。

「保存・展示施設の充実」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>(郷土博物館) 常設展示室の大規模な内容変更は難しいが，令和6年度については収蔵資料を基に一部展示内容を更新し，展示資料の追加を行う等の充実を図った。</p> <p>(文化伝承館) 令和6年度の開館可能日数283日のうち，92%に当たる260日間開館しており文化活動の場を提供する事ができた。</p>

□取り組み（目標）

② 資料の収集と活用

- ・収集した資料の活用のため、講座・常設展・企画展の充実を図ります。

□令和6年度実績

（郷土博物館）

【具体的な取組】

- ・企画展
「水とともに～睦村の歴史～」
期間：7月13日(土)～9月23日(月・祝) 利用者数：2,489人
- ・特別展示
秋の収蔵品展「祈る心、祝う心」
期間：10月19日(土)～11月17日(日) 利用者数：1,165人
「くらしのうつりかわり展 ～衣食住と学～」
期間：12月14日(土)～令和7年2月24日(月・振) 利用者数：2,506人

（文化伝承館）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、活動・人数を制限したこと等により、ほとんどの主催講座を実施できなくなっていたが、漸次再開を図っており、6年度も前年度よりも多くの主催事業を実施した。

【具体的な取組】

- | | | | |
|-----------------|-----|----|------|
| ・重陽の節供におくる邦楽演奏会 | 1回 | 人数 | 25人 |
| ・八千代の民俗文化再発見 | 1回 | 人数 | 12人 |
| ・紙芝居と昔話の会 | 8回 | 人数 | 212人 |
| ・子ども邦楽教室 | 14回 | 人数 | 308人 |
| ・茶道教室 | 6回 | 人数 | 102人 |
| ・子供日舞入門 | 5回 | 人数 | 36人 |

□今後の課題と取組

（郷土博物館）

企画展は1回のみ実施した。令和4年度から資料の整理・分類が課題となってきたことから、出来るだけ資料の整理・分類に時間を取るよう業務調整している。

特に民俗資料の整理を積極的に進める事ができた関係で、今後は古文書や考古等の資料整理・調査に取り組んでいきたい。

（文化伝承館）

昨年度実施した講座を引き続き実施するとともに、今後も様々な講座の実施を検討して行きたい。

「資料の収集と活用」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>(郷土博物館) 令和6年度の企画展も1回のみの実施ではあったが、資料の整理・分類を積極的に取り組んでいる。</p> <p>(文化伝承館) 令和6年度の主催講座について、「子ども日舞入門」を新たに実施した。 また市内の民俗調査(村上の神楽)の報告となる「八千代の民俗文化再発見」解説会も開催することができた。</p>

(3) 埋蔵文化財の保護と活用

担当課	文化・スポーツ課 (文化財班)						
□取り組み（目標）							
① 発掘調査体制の整備 <p>・貴重な埋蔵文化財が開発により失われることがないように、関係機関との連携を強化し、遺跡調査や発掘体制の整備・充実を図ります。</p>							
□令和6年度実績							
<p>埋蔵文化財の取扱いについて窓口等の問合せに対応するとともに、文書による確認・協議依頼に回答した。 保存措置を講ずるための試掘調査を必要に応じて実施した。</p> <p>【具体的な取組】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・問合せ</td> <td style="text-align: right;">786件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・確認及び協議</td> <td style="text-align: right;">152件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・試掘調査</td> <td style="text-align: right;">23件</td> </tr> </table>		・問合せ	786件	・確認及び協議	152件	・試掘調査	23件
・問合せ	786件						
・確認及び協議	152件						
・試掘調査	23件						
□今後の課題と取組							
<p>問合せに対して迅速かつ的確に対応し回答していく。その資料として台帳・地図等の整備を進めていく。 埋蔵文化財包蔵地の範囲について、過去の調査結果等を踏まえ引き続き、改訂していく。</p>							

「発掘調査体制の整備」に対する評価

評価	評価の理由
A	埋蔵文化財包蔵地の確認の問合せ等に迅速かつ的確に対応できるように過去の調査履歴等を格納したデータベースの活用を図った。

□取り組み（目標）

② 整理事業の推進と活用

・出土資料の整理事業に積極的に取り組むとともに、資料を活用した学習機会の提供に努めます。

□令和6年度実績

過去に実施された発掘調査で出土した埋蔵文化財の整理を行うとともに、各所において出土遺物の展示を行った。

【具体的な取組】

- ・報告書刊行済遺跡出土遺物再整理
- ・福祉センター遺物展示
- ・栄町公園駐輪場地下通路遺物展示
- ・常設展示（教育委員会，文化伝承館）

□今後の課題と取組

計画的に整理事業に取り組むとともに、学校をはじめとした教育機関との連携を推進していく。

「整理事業の推進と活用」に対する評価

評価	評価の理由
B	計画的な整理事業を実施されたが、資料を活用した学習機会の提供には至らなかった。

□取り組み（目標）

③ 保管整理場所等の一元化

- ・ 整理事業の効率化を推進するため、整理作業と出土資料の保管場所の一元化を図ります。

□令和6年度実績

出土文化財の整理を行い、保管スペースを確保するとともに、出土文化財の適正管理に努めた。

【具体的な取組】

- ・ 出土文化財の閲覧・貸出
- ・ 保管スペース内の整理
- ・ 新たな保管スペースの確保

□今後の課題と取組

管理・活用の基礎データとするため出土文化財の区分作業を進めていく。保管スペース内の整理作業を進めていくことで、出土文化財の閲覧・貸出対応をスムーズに行えるようにし、更なる出土文化財の活用につなげる。

「保管整理場所等の一元化」に対する評価

評 価	評価の理由
B	保管スペースの整理を行うことで保管遺物の適正な把握を行うことができるようになり、一定程度整理作業の進展が図れた。

スポーツ・レクリエーション

(1) スポーツ活動の推進

担当課

文化・スポーツ課

□取り組み（目標）

① ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進

- ・市民の多様なニーズを捉え、スポーツを始めるきっかけ作りに努めることで、スポーツを行う機会の充実に取り組みます。
- ・子どもから高齢者まで様々な人を対象としたイベントや教室を実施します。
- ・障害のある人もない人も一緒にできるスポーツ活動や大会の普及に努め、障害者スポーツの理解・啓発を推進します。

□令和6年度実績

- ・八千代市スポーツ推進委員協議会主催大会の実施（フロアカーリング大会・ソフトバレーボール大会等 計352人参加）
- ・まちづくりふれあい講座の実施（フロアカーリング・ボッチャ等 計853人参加）
- ・八千代市レクリエーション大会の実施（レクダンス大会・インディアカ大会等 計734人参加）

□今後の課題と取組

いずれのイベントも市民の楽しみや生きがいを見つける機会を提供する場であることから、引き続きイベントの開催に努める。
また、子どもから大人、高齢者など、様々な市民ニーズに対応し、気軽にスポーツを楽しむ環境を整備することで、スポーツ活動の機会の増加に努める。

「ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進」に対する評価

評価	評価の理由
A	各種大会を開催することで、市民の健康・体力の向上及びスポーツに親しむ機会を提供することができたため。

□取り組み（目標）

② スポーツ大会等の開催

- ・幅広い層の市民が参加できる，市民体育大会や市民レクリエーション大会，スポーツイベント等の開催を推進します。
- ・市内外の選手が参加することでスポーツの地域交流や国際交流を図るとともに，広く本市の魅力を発信できる大会やイベントを開催します。
- ・様々な大会やイベントにおいてスポーツボランティアの周知に努め，市民が気軽に活躍できる場の提供に努めます。

□令和6年度実績

市民体育大会，市民レクリエーション大会及びニューリバーロードレース i n 八千代を予定どおり開催することができた。

□今後の課題と取組

引き続き各関係団体と連携し，市民が参加しやすいスポーツイベント等を開催するとともに，新規参加者の獲得に向けてホームページ等を活用した情報発信に努める。

「スポーツ大会等の開催」に対する評価

評 価	評価の理由
B	市民体育大会や市民レクリエーション大会，ニューリバーロードレース i n 八千代を概ね計画どおり開催することができたため。

□取り組み（目標）

③ 競技力の向上

- ・競技力の向上や競技スポーツ人口の裾野の拡大を目指し、市民体育大会の開催や県民体育大会に参加する選手の育成・支援に努めます。
- ・多くの市民が身近な場所でトップレベルの競技や試合を観戦する機会の提供に努めます。
- ・全国大会に出場する選手を支援する補助制度の充実に努めます。

□令和6年度実績

千葉県民スポーツ大会に市を代表して24競技357人が出場し、大会に係る経費を一部補助したほか、全国高等学校総合体育大会に出場した選手6競技41人に対して、会場までの交通費の一部補助を行った。

□今後の課題と取組

千葉県民スポーツ大会に出場する選手へのさらなる支援を検討するほか、全国高等学校総合体育大会に出場する選手を支援する補助制度の充実に努める。また、民間企業との包括的連携協定を活用したトップアスリートによるスポーツ教室の開催に向けて調整を図る。

「競技力の向上」に対する評価

評価	評価の理由
A	千葉県民スポーツ大会に市を代表して24競技357人が出場し、大会に係る経費を一部補助したほか、全国高等学校総合体育大会に出場した選手6競技41人に対して、会場までの交通費の一部補助を行ったため。

(2) スポーツ環境の整備

担当課	文化・スポーツ課
□取り組み（目標）	
① スポーツ指導者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者の資質向上や育成に向けて、指導者向け講習会を開催します。 ・国・県が開催するスポーツ指導者研修会等の情報提供に努めます。 	
□令和6年度実績	
<p>地域のスポーツ指導者の育成を目的として、八千代市スポーツ協会との共催によりスポーツ指導員講習会を2回開催した。</p> <p>1回目 令和7年2月1日 参加者97人 2回目 令和7年3月1日 参加者69人</p>	
□今後の課題と取組	
<p>スポーツ指導者の高齢化や定着率の低下が進んでいることから、引き続きスポーツ指導者向け講習会を開催し、新規のスポーツ指導者の確保や、多様化する市民ニーズに対応する専門知識をもったスポーツ指導者の育成に努める。</p>	

「スポーツ指導者の育成」に対する評価

評価	評価の理由
B	<p>スポーツ指導者向け講習会を開催することで、スポーツ指導者の資質向上等を図ることができたため。</p>

□取り組み（目標）

② スポーツ推進委員の資質向上と活動の充実

- ・地域住民が主体的にスポーツを行えるよう、スポーツ推進委員の活動を支援します。
- ・多様化する市民ニーズに応じた派遣指導ができるよう、県等が主催する講習会への積極的な参加を促すなど、スポーツ推進委員の資質向上を図ります。
- ・スポーツ推進委員の活用等について周知に努め、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供します。

□令和6年度実績

県スポーツ推進委員連合会等が主催する研修等について、スポーツ推進委員への周知に努め、参加を促した。

□今後の課題と取組

スポーツ推進委員やニュースポーツに関する市民の認知度が低く、参加者が一部の市民や団体に固定化している傾向がある。今後、市民に対してスポーツ推進委員の活動やニュースポーツに関する啓発を行うことで認知度を高めていく。

「スポーツ推進委員の資質向上と活動の充実」に対する評価

評 価	評価の理由
B	各種講習会等に委員が参加することで推進委員の資質向上を図ることができたため。

□取り組み（目標）

③ 関係団体との連携

- ・市民のスポーツ活動を推進するため、スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ推進委員を始めとした関係団体との連携を図るとともに、スポーツ及びレクリエーション活動の普及に努めます。
- ・行政関係部署と連携を図ることで、スムーズな市民サービスの提供と向上に努めます。

□令和6年度実績

スポーツ協会やレクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会と連携し、各種大会やイベントを開催した。

□今後の課題と取組

市民のスポーツ活動の推進には、今後も行政の関連部局やスポーツ関係団体等との連携・協力が不可欠であることに加え、多様化する市民ニーズに対応するため、従来の枠組みを超えた体制が求められる。

「関係団体との連携」に対する評価

評価	評価の理由
B	関係団体と連携し、各種大会やイベントを開催できたため。

□取り組み（目標）

④ 総合型地域スポーツクラブの活動支援

- ・地域のスポーツ活動を活性化させるため、総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。
- ・総合型地域スポーツクラブの認知度を高め、加入者の増加や新たなクラブの設立支援につなげます。

□令和6年度実績

既存クラブの活動場所の確保を行ったほか、クラブとの情報共有に努め、助言を行う等活動を支援した。

□今後の課題と取組

総合型地域スポーツクラブの活動場所確保等による活動支援を継続して行っていく。
また、市ホームページに情報を掲載する等、総合型地域スポーツクラブの活動についての周知を図る。

「総合型地域スポーツクラブの活動支援」に対する評価

評 価	評価の理由
B	<p>クラブの活動場所の確保を行ったほか、クラブとの情報共有に努め、助言等を行うことで、総合型地域スポーツクラブの活動を支援することができたため。</p>

□取り組み（目標）

⑤ スポーツ情報の収集と提供

・広報やちよや市ホームページ等を通して、教室や大会等の情報提供に努めます。

□令和6年度実績

「広報やちよ」や市ホームページ等を通して、市民体育大会やスポーツ教室等の情報提供に努めた。

また、スポーツ大会等で活躍した市民の情報を、市ホームページやSNSを積極的に活用して周知に努めた。

□今後の課題と取組

市民が容易にスポーツに関する情報を得られるよう、市ホームページの内容の拡充等に努める。

また、手軽にスポーツ施設を利用できるよう、施設予約システムの利便性向上を図る。

「スポーツ情報の収集と提供」に対する評価

評価	評価の理由
B	「広報やちよ」や市ホームページ及びSNSを通じ、各種スポーツ情報を提供できたため。

(3) スポーツ施設の充実

担当課

文化・スポーツ課

□取り組み（目標）

① スポーツ施設の管理・運営

- ・スポーツ施設の予約方法などの改善や、施設・設備等の管理を行い、市民の誰もが利用しやすいスポーツ施設の運営を推進するとともに、質の高いサービスを利用者に提供することで、利用満足度の向上や利用者の増加に努めます。
- ・老朽化した施設を安心・安全に利用するため、計画的に施設の改修を進めます。
- ・公園、広場、未利用地などを活用し、市民が気軽に利用できるスポーツ活動の場の確保に努めます。

□令和6年度実績

指定管理者を導入する有料公園施設や総合グラウンドを中心に、スポーツ施設の利用満足度の向上や利用者の増加に努めた。

また、市民体育館改修工事や総合運動公園庭球場人工芝化等工事、その他軽微な修繕を指定管理者と共同で実施した。

□今後の課題と取組

老朽化したスポーツ施設を計画的に改修していく必要がある。

また、市民の誰もが利用しやすいスポーツ施設の運営を推進するため、施設の有効活用として各指定管理者の指定事業及び自主事業の内容について協議していく。

「スポーツ施設の管理・運営」に対する評価

評価	評価の理由
B	<p>利用者が安心・安全に施設を利用することができるよう、指定管理者と共同で施設修繕に努めたため。</p> <p>また、利用者サービスの向上を念頭に置いて、指定管理者と、施設の管理運営や利用者意見の対応について、定期的に協議を進めたため。</p>

□取り組み（目標）

② 学校体育施設の活用

- ・市民のスポーツ活動の場として，学校体育施設を有効に活用します。
- ・利用者の利便性を向上するため，利用方法の改善に努めるほか，利用団体との連携・調整を図ります。

□令和6年度実績

市民のスポーツ活動の場として，市内公立小中学校・義務教育学校及び旧阿蘇小学校・旧米本小学校・旧米本南小学校の体育施設を活用した。

□今後の課題と取組

学校体育施設開放事業の利用団体数が増加傾向にあり，利用者のサービス向上を目的とした業務の効率化等についての検討が必要である。

「学校体育施設の活用」に対する評価

評 価	評価の理由
B	既存の学校体育施設だけではなく，廃校となった旧3校の体育施設も活用し，多くの市民のスポーツ活動の場を提供することができたため。

4 学識経験者の知見

【学識経験者】

※敬称略

麻生 秀樹（元八千代市立八千代中学校長）

佐藤 雅英（元八千代市立大和田小学校長）

【意見】

I はじめに

「第3期八千代市教育振興基本計画」は、令和4年3月に策定された。本市における総合的かつ計画的にまちづくりを進める指針として策定される「八千代市第5次総合計画」と整合を図り、学校教育、生涯学習、文化・スポーツに関する施策を包含したものであり、教育の基本目標及び施策の方向性等が示されている。計画期間は、「八千代市第5次総合計画前期基本計画」に基づき3年間としている。令和6年度は、その区切りとなる3年目の取り組みとなる。

八千代市教育委員会では、「未来を拓き、豊かに生きる人間を育む」を教育目標として掲げ、「八千代市学校教育推進計画」「第3期八千代市生涯学習推進計画」「第2期八千代市スポーツ推進計画」を3本の柱として、教育方針等に沿って学校、家庭、地域、団体及び関係機関と相互に連携・協力し、人生100年時代を見通した新しい時代を豊かに生きる力を育んでいる。

学校教育の重点目標は、

—E S D（持続可能な開発のための教育）の推進—

- ・子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす教育
- ・教育を核とした持続可能な地域社会の構築

を掲げて取り組んでいる。

生涯学習においては、基本理念に「一人ひとりが学びを深め、互いに成果を生かし合い、共に生きるまち八千代」を掲げ推進している。

文化・スポーツにおいては、基本理念に「市民の誰もが健康で活力に満ちたスポーツのまちづくり」を掲げ推進している。

ここでは、「第3期八千代市教育振興基本計画」に掲げた施策ごとに、教育に関する事務の管理及び執行の状況が着実に実施されているか、効果的に行われているかなど各課の点検・評価結果等に基づいて所見を述べる。

II 教育委員の活動状況について

教育委員は、令和6年度、教育委員会定例会に12回、教育委員会臨時会に2回出席し、教育予算編成に係る案件等の審議に積極的に参加し、様々な案件に対して、多方面から意見を述べている。また、学校教育や生涯学習に係る諸行事等に積極的に出席し、新たな時代の創造を目指し、適切な指導・助言を行い、八千代市の教育が円滑に運営されるよう大

変な努力をされている。委員各位に、深く敬意を表したい。

Ⅲ 施策の点検・評価

〔教育〕

1 義務教育

(1) 安全・安心な教育環境の整備

義務教育において、「未来を拓き、豊かに生きる人間を育む」ために、「安全・安心な教育環境の整備」「教育内容の充実」「特別支援教育の充実」「体育・健康・安全に関する教育の充実」を柱として取り組んだ。

「学校の適正配置」については、「高津・緑が丘地域における現状及び今後の状況」を踏まえて、適正配置検討委員会を開催して、慎重に協議・検討を行った。その結果、対策や解決について、令和7年度に改めて協議することになったが、地域における宅地等の開発状況や児童生徒数の動向を的確に把握し、保護者や地域住民の声に耳を傾けながら、豊かな教育環境の実現に向けた学校の適正配置の検討をしてほしい。

通学区域審議会においては、市立小中義務教育学校の通学区域の現状と課題を把握し、審議を重ねてきた。特に、西八千代地区の人口増加に伴う対応については、できるだけ早い時期でその方針を導き出すことが望まれるところである。令和8年4月にみどりが丘小学校の分離校が開校する予定であるが、教育の質を確保しながらその準備を進めてほしい。また、高津中学校の生徒数の増加に対しても、十分な配慮が必要である。東高津中学校、大和田中学校との通学区域を見直すとともに、許可学区についても柔軟な対応を検討してほしい。

「学校教育施設の改修・整備等」については、令和6年度に予定した工事は全て完了することができた。特に、特別教室の空調設備について、小中学校合わせて283教室に設置できたことは、児童生徒はもちろん教職員や保護者からも高く評価されている。今後も児童生徒が快適で利用しやすい環境にするため、トイレの乾式化・洋式化への改修、老朽化した校舎等の改修を計画的に進めてもらいたい。併せて、学校施設のバリアフリー化及び体育館の空調設置を推進することにより、市民の安全安心にも大きく寄与するものと思われる。

「就学困難な児童生徒の支援」については、要保護及び準要保護児童生徒や特別支援学級等就学児童生徒に必要な援助を行うことができたことは評価できる。多様化するニーズに応じた支給費目・支給金額の検討と増加する受給者数に対応する予算措置が課題となってくる。また、それぞれの家庭事情が複雑になってきているので、その認定条件や継続審査のあり方などを見直し、関係機関と連携し、正確な対象者の把握と適正な認定・支給に努めてほしい。

(2) 教育内容の充実

教育委員会は、重点目標に、「E S D（持続可能な開発のための教育）の推進」を通じて「子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす教育」「教育を核とした持続可能な地域社会の構築」の実現と、S D G s（持続可能な開発目標）の達成を目指している。市内全小中義務教育学校において、S D G sの観点を意識しながら教科・領域の指導を行ったことは評価できる。E S Dの推進のために、大和田南小学校が市内で最初にユネスコスクールに認定されてから、令和6年度末に新たに数校が申請し、令和7年4月に大和田小学校・大和田西小

学校・萱田南小学校・大和田中学校の4校が認定された。その活動の広がりが感じられる。国内外の学校との交流や身近な生活の中での継続的な取り組み、地域社会と連携した防災意識の高揚など、児童生徒を主体とした実践がされていることは喜ばしいことである。引き続き各学校の独自性・地域性を大切にしながら、持続可能な社会づくりの担い手の育成を進めてほしい。

「教育内容の充実」のためには、教職員の指導力をはじめとした資質能力の一層の向上、授業など教育活動の充実が必須である。「教職員の資質向上と学級経営の充実」では、全教職員を対象に夏季授業力向上研修会を実施した。その中で、ICT機器の活用が苦手な教職員を対象にした研修が行われたことは効果的であった。さらに教職員のICT機器活用能力の育成に向け、情報主任研修会を実施した。情報主任が研修内容を各校で共有することで、さらに研修の充実が図られた。近年、校内の教職員に占める初若年者の割合が高くなり、初若年教員の育成が喫緊の課題となっている。教員のライフステージに応じた研修内容について見直し、回数も含めて精選したことは評価できる。今後さらに、一人ひとりの研修意欲を高めるために教職員がどのような研修内容を望んでいるのか、研修方法も含めて研修する側からの見直しが必要ではないかと考える。学級経営や教科指導の実践につなげる研修を計画して、力量向上に努めてほしい。

「国際教育・外国語教育の充実」については、教育課程特例校として全小学校及び義務教育学校前期課程に「言語活動科」を特設し、入学時から外国語に親しみ、教科化した小学校高学年の英語教育と合わせて外国語の授業が充実していることは評価できる。外国語教育の担当者から、その成果としてALTはもちろんのこと、外国の人と対面しても臆することなく積極的にコミュニケーションが図れるようになったことなど、児童生徒の変容が見られると報告があった。

イマージョン教育については、外国語で他教科を学ぶ好事例について研修会で紹介し、外国語以外の授業にもALTを派遣した。体験的に外国語や外国文化の理解を深める手段の一つとして、イマージョン教育の推進を図ってほしい。小中義務教育学校の外国語教育については、学級担任や教科担任とALTによるチームティーチングを展開した。中学校や義務教育学校後期課程においては、小学校や義務教育学校前期課程で学んだことの定着が図れるように、小中連携を積極的に進めてほしい。

「ICT活用の推進」については、ICT機器をさまざまな場面で利活用した学習が行われるようになった。Web会議システムを活用した学校行事の実施、ペーパーレス会議等、学校での活用の仕方も多様化してきている。Web会議やグループウェアでの情報共有、動画配信などにより出張による教職員の負担が軽減されたことも大きな成果である。また、タブレット端末は令和3年9月から一人一台の環境が整備され、いつでも学習に活用できるようになった。タブレット端末を活用して意見交換をしたり、AIドリルで個別学習に取り組んだりすることなどは有効な活用法である。それと同時に、協動的な学びやコミュニケーション能力の育成も意識して活用していくことが望まれる。さらに、ICT活用に関する研究指定校（八千代台西小学校・八千代台西中学校）の実践が市内の小中義務教育学校に波及して、より効果的に活用されるよう取り組んでほしい。令和7年度には、教育ネットワークシステムの更新が予定されている。更新にあたり、スムーズに移行できるよう環境整備や研修

を推進させるなど、教育センターとしての機能を充実させていくことが肝要である。

「豊かなこころの育成推進」については、小中義務教育学校では、「特別の教科 道徳」において、教科書に基づいた年間指導計画及び別葉が作成され、授業の改善向上のために、要請訪問の実施や研修会を開催し、授業改善が図られたことは評価できる。道徳教育さらには、教育活動全体の要として「特別の教科 道徳」の指導方法や評価方法等の研修を深めてほしい。

人権擁護委員協議会主催の人権教室等を実施し、関係団体との連携を図り、児童生徒の人権意識向上の啓発が行われている。教職員の人権意識を高めるため、参加・体験型の手法を取り入れた研修を計画的に進めてほしい。

「郷土愛を育む教育の充実」については、社会科副読本「わたしたちの八千代市」の編集を行った。古い写真や資料を更新するなど、児童にとってより身近な内容になるように工夫されていることは評価できる。「郷土を愛する」という観点から考えると、より多くの市民が八千代市の素晴らしさを児童に語り伝えていくことが必要である。郷土読本編集委員会により専門的な知見を有した市民や保護者の立場からの参画など、今後検討してみたいかがだろうか。

本市の特色ある教育活動の一つである八千代子どもサミットでは、SDGsをテーマとして、地域の実態に合った活動を実践することができた。地域の小中学生と一緒に考え、活動する子どもサミットは、地域社会の一員としての自覚と認識を深める教育活動である。さらに課題意識を高め、主体的に参加する活動になるよう仕組んでほしい。

「生徒指導と教育相談の充実」については、令和6年4月1日に「八千代市いじめ防止基本方針」が改訂され、学校・教育委員会で取り組まれている。その取り組みの成果として、いじめの件数が減少しているとの報告があった。いじめに関する調査も各学校で行われていると思うが、その調査からどのような課題が見つかり、それらを解決していくためにはどのような具体策があるのか、改訂の趣旨を踏まえ、教育委員会全体として各学校に周知徹底してほしい。また、子どもたちが、いじめについて自分自身で考え、仲間と共に考え、いじめは絶対許されるべきものではないという認識を持てるよう引き続き工夫されたい。全教職員がいじめ問題について鋭い感覚をもち、常にいじめ問題に即応できる体制が維持されているかをチェックしてほしい。

不登校児童生徒は、全国的に激増しており、八千代市も増えている。そうした児童生徒の支援のために不登校対応教員を配置したり、校内教育支援センターの設置を進めたりしていることは評価できる。さらに適応支援センターや教育センターの機能を活用し、教育相談体制の充実に努め、一人ひとりに寄り添ったきめ細かい指導に努めてほしい。また、八千代市スクールソーシャルワーカーとの連携、各学校に配置されているスクールカウンセラーとの活用を一層進めてほしい。引き続き、不登校が増加している要因について、教職員の意識改革を含めて学校体制を見直すという新たな視点から危機感を持って研究・調査を進めてほしい。

(3) 特別支援教育の充実

どの学校でも、一人ひとりの子どもたちの教育的ニーズに対応した適切な指導や必要な支

援が求められている（インクルーシブ教育）。また、保護者からの要望も多様化してきている。

「個に応じた支援の充実」では、特別支援学級に在籍する児童生徒や通級による指導を受ける児童生徒には、自立と社会参加ができることを目標に個別の指導計画と個別の教育支援計画を作成している。そして、関係機関との連携や年間目標を決め、学期ごとに短期目標の見直しを行いながら個に応じた支援を行っている。保護者や関係機関との連携を図り、個々の日々の記録を蓄積しながら、全校で共通理解を図りたい。

一人ひとりの教育的ニーズに応じる「支援のための環境整備」においては、知的障害特別支援学級について、全小中義務教育学校に設置されたことは、高く評価できる。自閉症・情緒障害特別支援学級も新たに八千代台東小学校に開設された。また、特別支援教育支援員が全小中義務教育学校に配置され、子どもの学ぶ意欲の向上や発達段階に応じたきめ細かい支援がなされている。各学校の実態をとらえ、これからも継続して特別支援教育の充実に努めてほしい。

「交流及び共同学習の推進」では、小中義務教育学校特別支援学級合同作品展を、コロナ禍においてはWeb開催であったが、5年ぶりにオーエンス市民ギャラリーで開催することができた。各学校の工夫で、通常の学級、特別支援学級、特別支援学校の児童生徒が互いに見合う機会を作ることができ、交流や共同学習が進められたことは評価できる。今後も、各学校の実情に合わせて交流及び共同学習の年間計画を作成して、計画的に取り組めるよう推進してほしい。

（4）体育・健康・安全に関する教育の充実

体育・健康・安全に関する教育の充実に向けて、「体育科教育の充実」「健康教育の充実」「安全教育の充実」を柱に取り組んできた。

「体育科教育の充実」については、コロナ禍以降、運動する機会が減り、体力や運動能力の低下が心配されている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、徐々に運動の機会は増え、日常の活動が戻ってきた。しかし、新体力テストの結果を見ると、握力やソフトボール投げなど全国や千葉県の平均値を下回る種目がある。各学校において児童生徒の実態をとらえ、課題を明確にして具体的な対応策を講じて取り組めるように、より積極的に働きかけていきたい。中学校部活動の地域展開においては、指導者の人材確保と指導力の向上、事故防止に対する危機管理についても、十分配慮しながら進めていく必要があると考える。

「健康教育の充実」については、児童生徒が生涯にわたって健康な生活を送るために、基礎的な知識を身につけ、実践的な態度や行動力が求められている。そのために、思春期保健や歯科保健の推進、薬物乱用防止教室の実施等、関係機関や外部講師と連携しながら推進していることは評価に値する。

食育の推進と安心安全な学校給食の提供では、東・西八千代調理場が食育の拠点となっている。年間通して八千代市産の食材を使用し、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を提供しており、残食率を減らすための工夫や努力も伺える。栄養教諭や学校栄養職員が給食を食べている様子を見ながら児童生徒に声をかけたり、学年の発達段階に応じて訪問授

業をしたりしていることによって、食への関心意欲が高まってきている。さらに、食物アレルギー対応品目を増やすなど食物アレルギーによる事故を絶対起こさないよう、一人ひとりへの細かな配慮と事故防止のための厳重なチェック体制は、高く評価できる。非常災害時の対応についても、可能な限り対処できるように配慮している。

「安全教育の充実」では、年度初めに「小中学校危機管理マニュアル」を見直し周知徹底を図った。スクールガードリーダー連絡協議会において、情報交換を行い、安全安心な登下校に努めた。児童生徒の救急搬送は106件であったが、教職員の危機管理意識が高まっており、最悪を想定して迅速に対応できたとも言える。

児童・生徒の通学路の安全確保は、子どもの命にかかわる教育委員会の大変重要な取り組みの一つである。通学路の安全点検とその対応は、迅速に実施されたい。今後も地域や関係機関と連携しながら、通学路の安全確保に向けた継続的な取り組みとともに安全教育の充実に努められたい。

2 高校・大学教育

(1) 大学等教育機関との連携

市内の小中義務教育学校、県立・私立高等学校、県立特別支援学校、私立大学の教職員が有機的に連携することを目指し、8月に「八千代教育サミット」を開催した。多様な校種の教職員が集い、教育的課題について議論することができた。今後、幼稚園・保育園とも連携するなど、サミットが始まって10年を経過し、より実践的な取り組みに発展することを期待したい。また、教員志望の大学生を市内小中義務教育学校の授業支援者（ドリームティーチャー）として受け入れていて、多くの学生が各校の授業の支援を行った。教員志望者を確保する上でも、大切にしたい取り組みである。さらに、秀明大学の飛翔祭で実施される公開講座の周知を、「広報やちよ」を通して行なった。このように、市内の各種教育機関が、未来を担う子どもたちのために連携していくことは、大変意義深いことであり、素晴らしいことである。今後もさらに充実、発展させていってほしい。また、大学の公開講座を地域社会に周知し、教育資源の活用へと繋げる試みもぜひ積極的に推進し、地域社会との関係が広がっていくようにしたいものである。

3 青少年健全育成

(1) 青少年健全育成支援体制の整備

青少年の健全育成支援体制の整備に向けて、「組織体制の充実」「地域力の強化」「青少年育成施設の充実」を柱として取り組んだ。

「組織体制の充実」に向け、8月に青少年問題協議会を開催した。青少年健全育成支援体制の整備等をまとめた「青少年対策の概要」について意見交換を行い、関係機関等に配布して周知連携を図った。さらに、「八千代市における少年犯罪の発生状況等」をテーマとして講義を行った。また、青少年相談員を20校区で110人、青少年指導員を9地区で延べ126人委嘱し、健全育成活動を推進した。

「地域力の強化」については、指導者の養成講座として、青少年団体指導者養成講座「友・遊・カレッジ」の開催（5回）、地域の指導者育成として、青少年学校外活動支援事業実行

委員会の実行委員を対象とした「安全管理講習会」・「レクリエーション研修会」の開催など、ニーズに対応した講座、研修を行い、地域活動の推進を支援した。

「青少年育成施設の充実」については、子どもたちが自然の中で遊びながら学べる体験学習の場として、「ガキ大将の森」キャンプ場を提供し、長年に渡り多くの利用者のニーズに応えたことなど、着実な支援を行ってきたことは大いに評価できる。しかし、キャンプ場開設から30年以上経過しており、施設老朽化を踏まえて今後の方向性を検討しているところである。子どもたちの自然体験の場が確保できるように、関係部局と協議しながら模索できたらありがたい。

今後も、青少年相談員、青少年指導員の維持・確保、市民ニーズに応えた講座、研修等の実施をはじめ、青少年健全育成支援体制の整備に向けて、引き続き努力をされたい。

(2) 青少年の自立支援体制の推進

青少年の自立支援体制の推進に向け、「地域社会活動への参加の促進」「非行防止対策・自立支援の推進」を柱として取り組んだ。

「地域社会活動への参加の促進」については、青年たちによるプロジェクトチームが中心となって成人式の司会進行・運営を行った。1,384人の参加者を得て、概ね計画通りに実施することができた。青年たちの大人としての自覚と市民意識の高揚が図られ、参加者の満足を得られる記念行事となったことは評価できる。今後も広報の方法を工夫して周知を図り、より多くの青年たちが参加できる場としていただきたい。

「非行防止対策・自立支援の推進」については、青少年センターにおける少年の非行問題に関する相談、各種街頭補導活動等、その充実に向けて鋭意努力されたことが伺われる。街頭補導は年間310回を数え、補導人数は50名であった。これは、以前の補導状況と比較すると大幅に改善されており、日常の地道な努力の成果であろう。今後も、学校、補導委員、関係機関等との連携をさらに強化し、非行防止、被害防止に努めていただきたい。ネットトラブル等への対応についても、高校生を指導員としたネット安全教室を開催するなど、より身近で効果的な対応となるよう工夫されている。

(3) 青少年による自主活動の推進

青少年による自主活動の推進に向け、「社会環境の健全化の推進」「青少年による自主活動の推進」を柱として取り組んだ。

「社会環境の健全化の推進」については、学校警察連絡委員会の研修で、「学校として青少年の非行にどう関わればよいか」について講演会を開催した。具体的な事例をもとに各関係機関との連携体制について理解を深めることができた。近年、子どもたちのSNSの適正な利用については多様な課題が生じており、小学生も含め、広くカバーできる体制づくりが求められている。現在は、事案発生に対して、青少年センターによる速やかな該当校への連絡や関係機関に繋ぐという対応でカバーしている。今後もこの体制を継続されるとともに、将来的には青少年センター内にネットに関する専門職員を配置することも見据えて、検討を続けていかれたい。

「青少年による自主活動の推進」については、子どもたち自身が考えた「八千代市子ども

憲章」（6つの努力目標）のカードを市内小学校1年生、4年生を対象に配布して周知を図った。また、青少年育成団体の行事等でもカードを配布した。子どもの自主性を尊重した、地道な取り組みではあるが、残念ながらその認知度はあまり高くはないようである。各学校においても、積極的に呼びかけて、目標に向けて具体的に組み立てていく様子は見られないのが現状である。憲章制定から20数年が経ち、子どもサミットと連携するなどして、改めて見直しをする時期にきているのかもしれない。

〔生涯学習〕

1 生涯学習

（1）市民の学びの支援

市民の学びの支援に向け、「市民のニーズに対応した学習機会の提供」を柱として取り組んだ。

市民の多様なニーズに応えるため、総合生涯学習プラザ主催の市民カレッジをはじめとする各種講座の実施、「家庭教育講演会」の2回開催など、学習機会の充実に努められた。

また、郷土博物館による講座・講演会等は、幅広い世代の興味・関心に応えるよう内容を工夫して開催され、企画展も展示説明会や現地見学会と関連付けるなど工夫して開催された。総数100回余にわたる各種講座等の開催により、5,403人の参加を得たことは評価できる。今後も、引き続き市民ニーズを的確にとらえ、適切な学習機会の提供に繋がるよう、周知方法や内容の工夫を重ねながら、充実させていってほしい。

（2）学びを通じた交流と成果の還元

学びを通じた交流と成果の還元に向けて、「学習成果を活用した交流の支援」「団体活動の支援と学習成果の地域還元の促進」「人材の育成・確保・活用の体制整備」を柱として取り組んだ。

「学習成果を活用した交流の支援」については、例年多くの団体の参加と多数の来館者のある「公民館まつり」が、市内9公民館中、8公民館において開催されたことは喜ばしい限りである。公民館まつりは、各公民館のサークルの学習成果発表の場として、また、各地域の交流の場として、貴重な機会である。しかし、高齢化に伴うサークル会員数の減少や負担軽減のため、利用者によく意見交換をして、公民館まつり以外の発表の機会や地域との交流について、検討を重ねていかれることを期待する。

「団体活動の支援と学習成果の地域還元の促進」に向けて実施している「ふれあい教室」は、世代間や地域間での交流の場として大変貴重である。令和6年度は実施件数59件、参加者数2,584人と増加していることは評価に値する。近年、ボランティア指導者の高齢化が進み、実施団体が減少していて、継続している団体も開催可能日が減少しているようだが、参加者から好評を得ている講座も多いので、今後も、更なる周知及び制度の充実に努めてほしい。

「人材の育成・確保・活用の体制整備」に向け、「生涯学習ボランティアバンク制度」を活用することは、市民相互の生涯学習活動の支援や生涯学習社会の発展のために欠かせな

いことである。ホームページへの掲載や生涯学習施設・主催講座・市内イベントでのチラシ配布等により制度の周知に努めているが、引き続き活用促進に向けての工夫、努力を重ね、利用件数、利用人数の増加を目指してほしい。また、「まちづくりふれあい講座」は、八千代市職員が、市民グループの講座等に出向き、市の事業や施策について話をする事業である。登録講座数は68講座、開催回数294回、延べ参加者数7,829人と、前年度に比べると増加している。市民に市の事業や施策について理解していただく貴重な機会として、今後も周知方法や内容等を工夫して潜在的な受講希望者を掘り起こすなど、積極的に展開してほしい。

(3) 市民の学びの環境整備

市民の学びの環境整備に向け、「生涯学習関係施設の整備・充実」「情報提供の充実」を柱として取り組んだ。

「生涯学習関係施設の整備・充実」について、中央図書館の自動出納書庫整備工事、八千代台図書館の玄関庇改修工事を行う等、適切な維持管理に努められたことは大いに評価できる。また、公民館についても、定期点検時に指摘があった照明器具や消防設備の修繕等、各施設に必要な修繕や改修を実施するなど適切な維持管理に鋭意努められた。今後も、生涯学習環境の維持、向上に向け、各施設に必要な修繕・改修等を円滑に進めてほしい。

「情報提供の充実」に向けては、市のホームページ、生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」、広報紙、SNS等を積極的に活用することが求められる。令和4年度に「まなびネットやちよ」が全面リニューアルされたことにより、他部署から収集した講座・教室情報を掲載し、団体・サークル情報、指導者情報等を適宜更新されているのはすばらしいことである。しかしながら「まなびネットやちよ」の認知度はまだ十分とは言えないのが課題である。また、利用者が講座の開催予定等、生涯学習情報を得やすいよう施設内でのチラシ等配架、パネル展示、市民閲覧用パソコンの設置等、多様な支援の工夫もされた。今後も引き続き、生涯学習情報提供システムの更なる周知を図り、SNS等を効果的に使用した生涯学習情報の発信、充実に努めてほしい。

(4) 地域社会と連携し、共に歩む教育への支援

「地域社会と連携した教育への支援」を柱として、地域社会が学校や家庭と連携・協働する「地域学校協働活動」の支援に積極的に取り組んだ。令和4年度は、大和田小学校と高津小学校の2校に地域学校協働本部が設置された。さらに、令和5年度は萱田小学校に設置され、令和6年度は新たに勝田台中学校と阿蘇米本学園の2校に設置されたことは、高く評価できる。目標を達成するためには地域の実態による課題も多いと思われるが、対象学校の教職員や保護者、地域住民等への説明及び周知に努め、計画に沿った着実な推進に期待したい。

[文化]

1 市民文化

(1) 文化活動の推進

文化活動の推進に向け、「文化芸術団体、グループ等の育成及び支援」「文化活動の機会の充実」「文化芸術に関する情報の発信とネットワーク化」を柱として取り組んだ。

「文化芸術団体、グループ等の育成及び支援」については、地域における市民の自主的な文化活動を振興し、優れた文化芸術に触れる機会を醸成することを目指して、市民文化祭を開催した。市民文化祭は、例年3万人を超える多数の参観者のある市民団体の貴重な活動発表の場である。令和6年度は31団体が参加し、参観者数も31,385人であった。市民の自主的な参画を期して、広報等を活用して積極的に参加者を募集するなど、工夫、努力をして団体の育成に寄与されたことを評価したい。

「文化活動の機会の充実」については、芸術鑑賞事業として、市民文化祭や市民ギャラリー、勝田台ステーションギャラリー等での市民団体主催の展示会、市民会館や勝田台文化センターでの音楽イベント等を開催した。また、体験型の事業として、市民ギャラリーでの各種絵画教室など文化芸術を創造する多彩な子ども向け講座を実施した。さらに、市民ギャラリーにおいて、市民文化祭ポスターデザイン画の応募作品展示を行い、広く市民文化祭の周知を図ることができた。各文化施設において様々な自主事業や企画展を積極的に展開されたことは、高く評価できる。今後も引き続き、市民が参加しやすい、魅力ある事業の提供に努めてほしい。

「文化芸術に関する情報の発信とネットワーク化」については、市民文化団体や指定管理者と各種イベント情報を共有しながら、市の広報やホームページ、情報メール、SNS等のインターネットを活用した情報発信を行い、市民への文化芸術情報の提供に努めた。新たにLINEを使って幅広い世代に向けて情報発信したことは効果的であった。今後も、市内の文化団体との情報交換を大切にしながら、引き続き多くの市民への積極的な情報発信に努めてほしい。

(2) 文化芸術施設の活用・充実

文化芸術施設の活用・充実に向け、「文化芸術施設の管理・運営」を柱として取り組んだ。

市民の多様な文化活動のニーズに対応するため、市民会館や文化センターでは、音楽や舞踏を中心に、市民芸能祭や各団体と共催で実施する事業、メディア等に出演している落語家及び演奏者等を迎えた事業等、市民が文化芸術に触れる機会を提供した。また、市民ギャラリーでは、常設展示室での企画展示や、広く明るい展示室での市民美術展をはじめとする市民の美術作品発表の機会を提供することができた。さらに、利用促進を図り、市民の文化芸術の機会提供に努めていってほしい。

2 文化財

(1) 文化財の保護と活用

文化財の保護と活用に向け、「文化財調査の推進」「文化財の保護」「伝統文化の継承」を柱として取り組んだ。

「文化財調査の推進」については、開発に伴う各種発掘調査を実施するとともに、調査が終了した遺跡については整理作業を行い、報告書を刊行した。また、市指定文化財候補の調査・研究を地道に行った。専門的な知識を有した職員による功績は、誠に大である。

「文化財の保護」については、市内の貴重な文化財を次世代に継承すべく、文化財保護の普及・啓発に努めるとともに、維持管理の支援やその後継者の育成を図ることを目指している。また、地域の文化財への認識を深めるため、説明板の設置などによる文化財への関心や理解の向上も目指している。具体的には、普及・啓発事業として、各種情報の提供、埋蔵文化財通信「埋やちよ」及び文化財通信「財やちよ」の発行、講師派遣、遺物の展示等を実施した。これらにより、文化財の保護・普及に向けて、一定の成果をあげることができた。今後も、普及・啓発活動の更なる進展と文化財説明板の計画的な設置・修繕等への努力を継続されたい。八千代市のすばらしさを多くの市民に伝えていくことで、郷土愛がより深まっていくと思われる。

「伝統文化の継承」については、社会や環境の変化に伴い変貌している伝統文化について、映像や音声により記録を保存するとともに、途絶えてしまった伝統文化の復活に向けた資料の調査・研究に努め、その継承と後継者の育成を図ることを目指している。文化伝承館において、市内に残る民俗行事「村上の神楽」について、関係部署と連携して映像・音声記録を行い、その映像記録を紹介する講座を実施した。今後も、貴重な記録とその活用を継続するとともに、途絶えてしまった伝統文化についての調査を進めてほしい。

(2) 文化資料の収集・保存・活用

文化資料の収集・保存・活用に向けて、「保存・展示施設の充実」「資料の収集と活用」を柱として取り組んだ。

「保存・展示施設の充実」について、郷土博物館においては、約3万点の古文書等の定期的な修補（令和6年度は36回実施）や常設展示室の解説資料の更新などを行った。また、竹細工同好会による竹細工作品展を開催し、「竹細工」の普及を図ったり、篆刻同好会による篆刻作品展を開催したりするなど、伝統文化の保存伝承及び後継者の育成を図った。文化伝承館においては、伝統文化団体の利用、その他の団体の利用、見学・遊具利用等で合計6,692名の利用者を得るなど、市民への伝統文化活動などの場の提供に努めた。保存・展示施設としての活用面での充実が図られており、その努力に敬意を表したい。どちらの施設も老朽化が課題となっているので、今後は、修繕・改修等を計画的に進め、伝統文化等の活動団体をはじめ、市民が活動しやすい、より快適で魅力的な環境づくりに努められたい。

「資料の収集と活用」について、収集した資料の活用のため、郷土博物館では企画展「水とともに ～睦村の魅力～」、特別展示「祈る心、祝う心」、「くらしのうつりかわり展 ～衣食住と学～」を開催し、合計6,160名の利用者が参観した。文化伝承館では、コロナ禍で主催講座がほとんどできなかつた時期を乗り越えて、主催講座が漸次再開された。「紙芝居と昔話の会」、「子ども邦楽教室」、「重陽の節供におくる邦楽演奏会」、「茶道教室」、「八千代の民俗文化再発見」、そして新たに「子供日舞入門」を加えて合計35回（参加者695名）実施した。両館とも、様々な制限・制約のある中、講座・常設展・企画展等の充実に向けて努力されてきたことに敬意を表したい。今後も、市民にとってより魅力ある内容となるよう、工夫した取り組みを継続されたい。

(3) 埋蔵文化財の保護と活用

埋蔵文化財の保護と活用に向け、「発掘調査体制の整備」「整理事業の推進と活用」「保管整理場所等の一元化」を柱として取り組んだ。

「発掘調査体制の整備」は、貴重な埋蔵文化財が開発により失われることがないように、関係機関との連携等により、遺跡調査や発掘体制の整備・充実を図るものである。令和6年度は、埋蔵文化財の取扱いについての問合せへの対応786件、文書による確認・協議依頼への回答152件、保存措置を講ずるための試掘調査23件と様々な問合せ等に、過去の調査履歴等のデータベースを活用して迅速かつ的確に対応された。今後も、台帳・地図等の資料整備、より効果的な試掘調査のための試掘実施基準についての検討、埋蔵文化財包蔵地の範囲の改訂など、引き続き丁寧に進めてほしい。

「整理事業の推進と活用」については、過去に実施された発掘調査で出土した埋蔵文化財の整理を行った。また、ステーションギャラリーや栄町公園駐輪場地下通路での展示や、教育委員会庁舎や文化伝承館での常設展示も市民の関心を高める一助になった。今後も、計画的に整理事業に取り組むとともに、学校をはじめとした教育機関との連携にも注力するなど、資料を活用した学習機会の提供に努めてほしい。

「保存整理場所等の一元化」については、出土文化財の整理を行い、保管スペースを確保して、出土文化財の適正管理に努めた。また、出土文化財の常設展示を実施し、閲覧・貸出にも対応するなどして、市民の出土文化財への理解と関心を高めることができた点は評価できる。今後、出土文化財の適切な管理・保存を実施するため、恒久的な保管施設の確保についても、引き続き検討されたい。

[スポーツ]

1 スポーツ・レクリエーション

(1) スポーツ活動の推進

スポーツ活動の推進に向け、「ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進」「スポーツ大会等の開催」「競技力の向上」を柱として取り組んだ。

「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」については、八千代市スポーツ推進委員協議会主催大会として、フロアカーリング大会、ソフトバレーボール大会等を実施し、352名の市民が参加した。まちづくりふれあい講座では、フロアカーリング、ボッチャ等を行い、853名が軽スポーツを楽しむことができた。八千代市レクリエーション大会では、レクダンス大会、インディアカ大会等が開催されて734名の参加を得た。市民の多様なニーズに応え、スポーツに親しむ機会を提供されたことを大いに評価したい。今後も、引き続き市民の楽しみや生きがいを見つける機会であるイベントの開催をはじめ、子どもから高齢者までの多様な市民ニーズに対応したスポーツ活動の機会の充実に努めてほしい。

「スポーツ大会等の開催」については、市民体育大会や市民レクリエーション大会、ニューリバーロードレースin八千代が予定通り開催された。ニューリバーロードレースは、以前市民レベルの新春マラソン大会として行われていた。その後、実行委員会を立ち上げ、全国的な大会としてスタートして25回大会を迎えることができた。全国各地から多く愛

好者が集まり、参加者から好評の声が届けられている。これも関係機関の理解と協力があつたからこそと感謝申し上げたい。これからも引き続き、市民が参加しやすいスポーツイベントの開催に向け、各関係団体と密に連携して取り組んでほしい。また、ホームページ等を活用して、新規参加者の獲得に向けた情報発信にも積極的に取り組んでほしい。

「競技力の向上」については、千葉県民体育大会に出場した選手（24競技357名）と全国高等学校総合体育大会に出場した選手（6競技41名）に対して、大会に係る経費や交通費の一部を補助するなど、競技力の向上を図った。今後も引き続き、民間企業との包括的連携協定を活用してのトップアスリートによる各種スポーツ教室の開催や、全国高等学校総合体育大会に出場する選手を支援する補助制度の充実に努められたい。

令和6年度に開催されたパリオリンピックでは、八千代市ゆかりの選手として、女子柔道の角田夏実選手（勝田台小学校卒、勝田台中学校卒、八千代高等学校卒）、スポーツクライングの安楽宙斗選手（大和田小学校卒、大和田中学校卒、八千代高等学校在学）の活躍に多くの市民が声援を送り、大きな感動を受けた。これを大きな契機として、市民のスポーツへの関心や参加意欲が高まることに期待したい。

今後も、スポーツ活動の推進に向け、各事業についての市民への情報発信、周知等について工夫し、継続・発展を図ってほしい。

（2）スポーツ環境の整備

スポーツ環境の整備に向け、「スポーツ指導者の育成」「スポーツ推進委員の資質向上と活動の充実」「関係団体との連携」「総合型地域スポーツクラブの活動支援」「スポーツ情報の収集と提供」を柱として取り組んだ。

「スポーツ指導者の育成」については、八千代市スポーツ協会と連携して、地域のスポーツ指導者の育成に努めており、令和6年度はスポーツ指導員講習会を2回開催し、合計166名の指導者が受講した。これにより、スポーツ指導者の資質向上が図られたことを評価したい。今後は、スポーツ指導者の高齢化や定着率の低下に対応すべく、引き続きスポーツ指導者向け講習会を開催する中で、新規のスポーツ指導者の確保や、多様化する市民ニーズに応える専門知識をもったスポーツ指導者の育成に努められたい。中学校の部活動について、地域移行が進められている。指導者、活動場所等の課題はあるが、学校・関係団体と連携しながら取り組まれることを要望するところである。

「スポーツ推進委員の資質向上と活動の充実」については、県スポーツ推進委員連合会等が主催する研修等について、スポーツ推進委員への周知に努め、参加を促した。スポーツ推進委員が各種講習会等に参加することで、資質向上を図ることができたことは評価できる。今後は、さらに活動の幅を広げていくとともに、広報やホームページ等を活用し、市民に対してスポーツ推進委員の活動やニュースポーツに関する啓発を積極的に行うことで、認知度を高めてほしい。小中義務教育学校において、ニュースポーツの体験教室を行うことも、運動を楽しむ市民の底辺を拡充する一助となると考える。

「関係団体との連携」については、スポーツ協会やレクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会と連携して、各種大会やイベントが従来のように開催されたことは、評価できる。今後も、市民のスポーツ活動の推進に向け、行政の関連部局やスポーツ関係団体等

との連携・協力を大切にするとともに、多様化する市民ニーズに応えるため、新たな体制づくりも模索していただきたい。

「総合型地域スポーツクラブの活動支援」については、3つの既存クラブの活動場所確保を行ったほか、クラブとの情報共有に努め、助言を行うなど活動を支援したことは評価できる。今後は、現在の活動支援を継続するとともに、市のホームページに活動情報を掲載するなどして、総合型地域スポーツクラブの活動の周知を図ることにも努められたい。また、新たな総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援にも尽力されたい。

「スポーツ情報の収集と提供」については、「広報やちよ」や市ホームページ、SNS等を積極的に活用して、市民体育大会やスポーツ教室等の各種スポーツ情報の提供、スポーツ大会等で活躍した市民情報の周知に努められたことを評価したい。今後も引き続き、市民がスポーツ情報を幅広く、容易に得られるよう、市ホームページ等の内容の拡充に努められたい。併せて、手軽にスポーツ施設を利用できるよう、施設予約システムの利便性向上にも努められたい。

(3) スポーツ施設の充実

スポーツ施設の充実に向け、「スポーツ施設の管理・運営」「学校体育施設の活用」を柱として取り組んだ。

「スポーツ施設の管理・運営」については、指定管理者を導入するスポーツ施設の利便性を高めて、利用者の増加に努めた。また、市民体育館の大規模改修工事が進められているが、より快適にスポーツに親しむことができる施設として八千代市の特色となるように期待したい。今後も引き続き、安心・安全に施設を利用できるよう、各指定管理者と協議しながら、計画的に施設の修繕・改修を進めてほしい。

「学校体育施設の活用」では、市民のスポーツ活動の場として、市内公立小中義務教育学校及び旧阿蘇小学校・旧米本小学校・旧米本南小学校の体育施設を活用し、多くの市民のスポーツ活動の場の提供に努められたことを評価したい。今後は、学校体育施設開放事業の利用団体数が増加傾向にある中で、利用者へのサービス向上に向けた業務の効率化等についても検討・工夫をされたい。

IV おわりに

八千代市は「教育文化都市」をめざしている。

教育に係る多岐にわたる市民ニーズに対応して、地道ではあるがそれぞれの部署において誠心誠意に事業を実施している。令和元年度後半から、全世界に広がった新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から4年度にかけて義務教育も生涯学習も大きな影響を受けた。そんな状況の中でも、義務教育においては、児童生徒の学びを保証するために、様々な取り組みの工夫をしながら実践してきた。生涯学習においても、困難な状況の中でも、可能な限りの工夫、努力をして、市民のニーズに応えようとする姿勢を示してこられた。各部署ともコロナ前の状況への復活及び更なる充実・発展を目指し、創意工夫して、できうる限りのサービス提供に努められたことに深く敬意を表したい。

令和6年度は、今までのいろいろな制限が緩和され、多くの子どもたちや市民は通常の生活に戻ってきている。ただし、コロナ禍になる前の状況に戻すだけではなく、コロナ禍で見直した従来の当たり前とされていた事柄を再構築して、より豊かな日常を求めて、創意工夫していくことが必要であると痛感している。最近の社会情勢を鑑みると、経済への不安、異常気象と自然災害、国際紛争など様々な課題が取り巻いている。教育界に目を向けると、不登校児童生徒の増加、教職員の不足、不祥事の根絶と教育への信頼回復、働き方改革などの課題が山積している。生涯学習においては、高齢化社会の加速化と社会保障の充実、医療体制の整備、外国人との共生社会、より豊かな生きがいの創造など、次々と問題になっている現状である。

学校教育については、教育に真摯に向き合っている教職員の力が大きい。八千代教育の財産は、ひたむきに努力する教職員であると言われてきた。初任者からベテラン・管理職まで県や市の研修に真摯に取り組み、教職員としての資質の向上に努めてきた。また市の独自の研修なども積極的に行っており、八千代市教育委員会がいかに教職員を大切に思い、育てようとしているのかが理解できる。働き方改革が進む中で、安易に業務を削減するのではなく、将来を担う子どもたちに何が必要なのかを今こそ議論すべきではないだろうか。教員不足を解消するためにも、教育者としての生きがいを大切にしていきたい。

生涯学習においては、我が国が迎えようとしている「人生100年時代」を豊かに生きるための、誰もが生涯にわたって、あらゆる機会や場所で学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる「だれでも、いつでも、どこでも学べる社会」の実現のために、多様な事業を展開していこうと努めていることが理解できる。

本報告書においては、事業ごとに「目標、実績、今後の課題と取り組み」の欄が設けられ、点検・評価がなされている。この中でも、特に「今後の課題」をいかに明確にし、次の具体的な取り組みに繋げていくかが大事である。今後も、PDCA (Plan・Do・Check・Action) のサイクルを踏まえ、積極的かつ丁寧に各事業を推進し、成果の「見える化」を目指してほしい。また複数の課にまたがる事業については、最大限の効果を上げられるよう、横の連携を密にして取り組まれない。第4期八千代市教育振興基本計画において、より実効性を高めていけるように努力されることを切に願うところである。

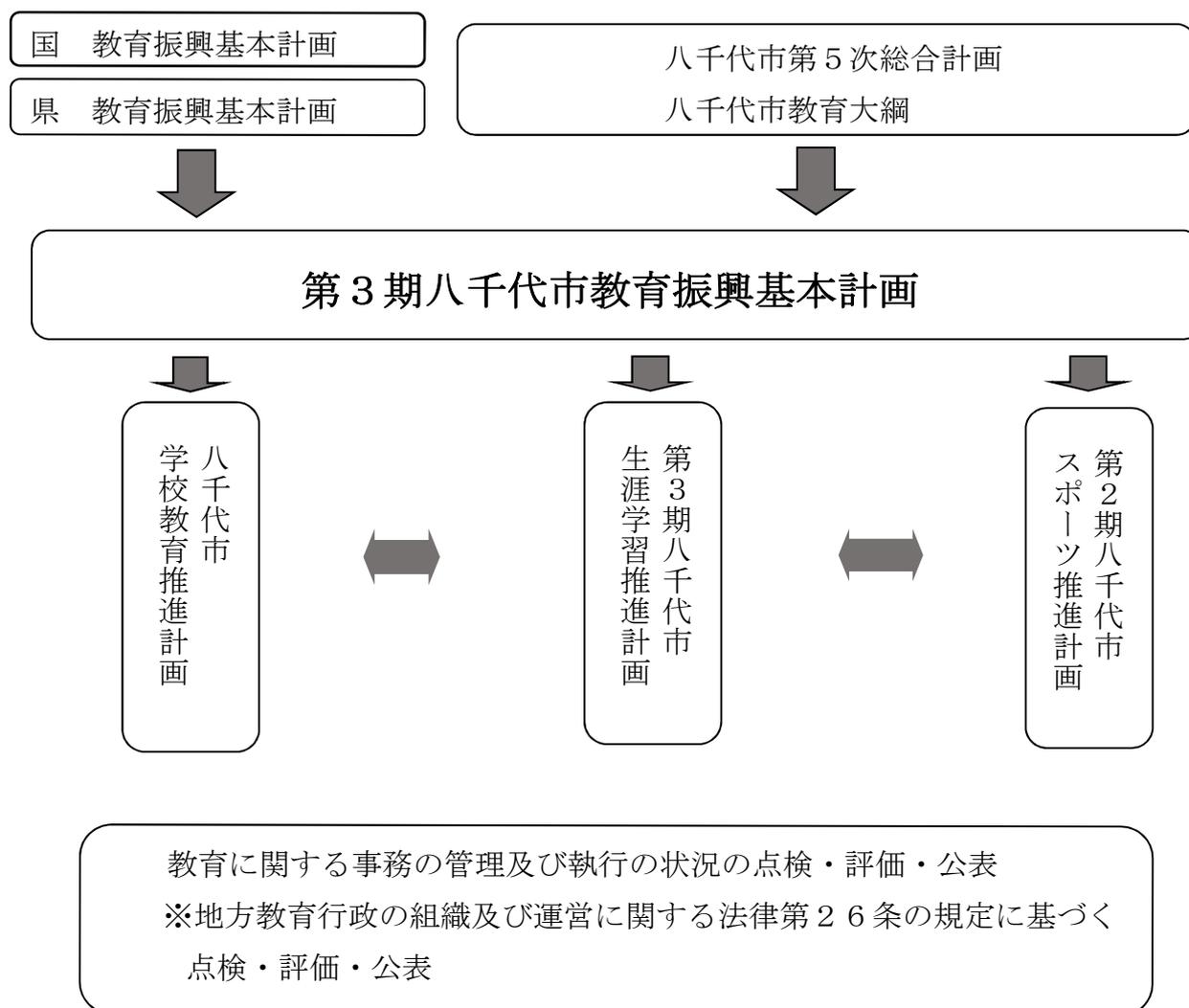
?校教育及び生涯学習、文化・スポーツの充実・発展に向けては、市民の皆様のご理解、ご支援、ご協力が不可欠である。そのためには、今、市教育行政がどのように取り組んでいるか、市民の皆様に丁寧に知らせていく必要がある。今後、ホームページ等での広報活動をはじめ、SNSを活用して尚一層の周知を図るなど様々な工夫をし、力を入れて取り組んでほしい。

資 料

施策等の体系図

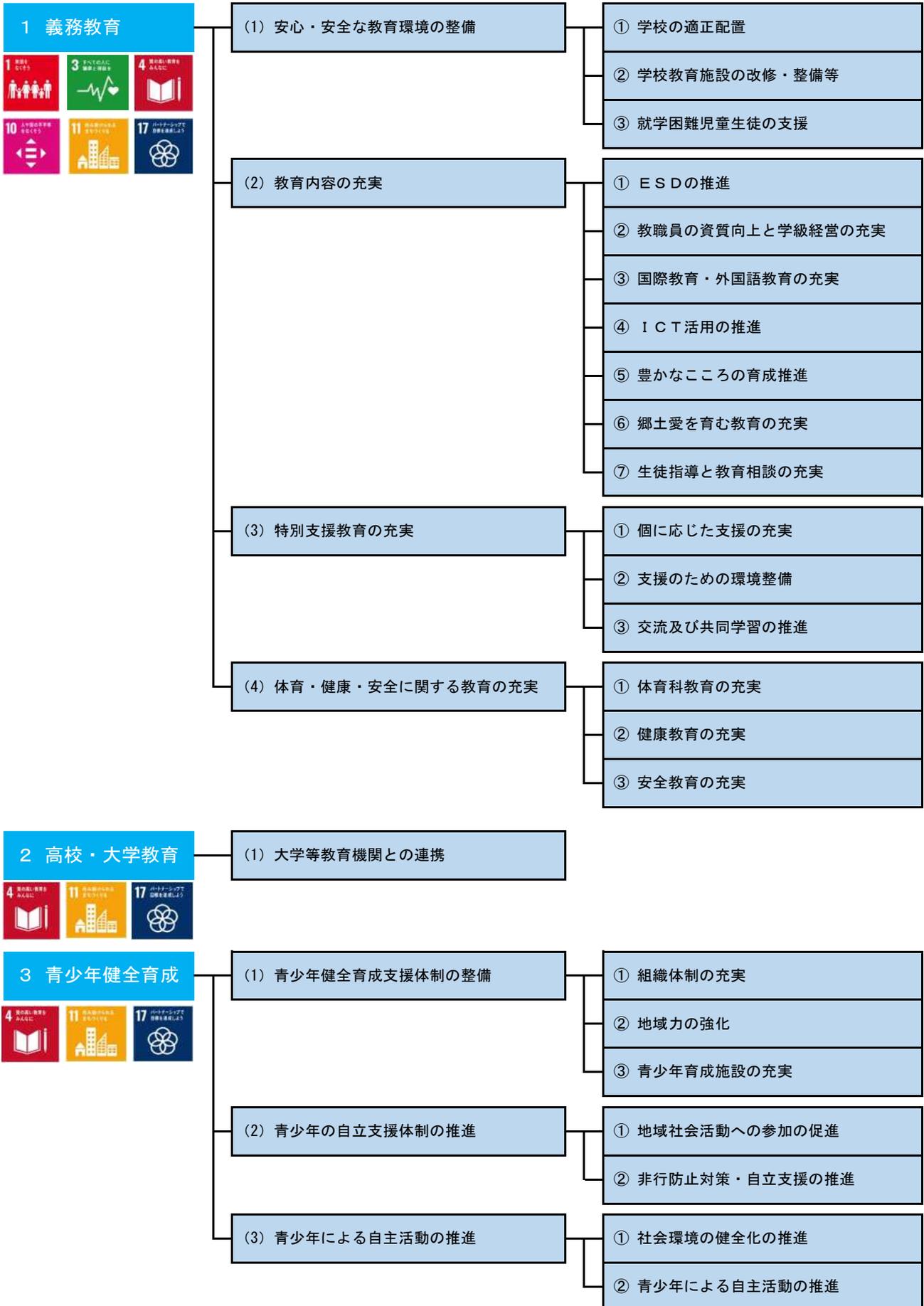
第3期八千代市教育振興基本計画の位置づけ

第3期八千代市教育振興基本計画は、「八千代市第5次総合計画」を上位とした関連する各種分野別計画と整合を図り、教育基本法第17条第2項の規定に基づく、八千代市における「教育振興基本計画」として位置づけるものです。

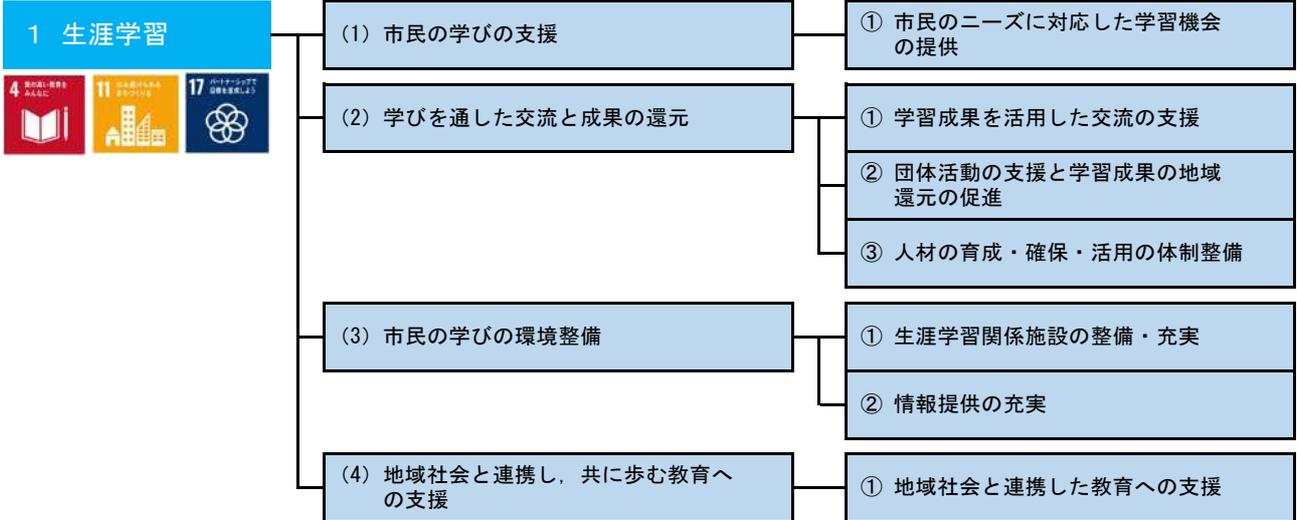


第3期八千代市教育振興基本計画における施策と取組

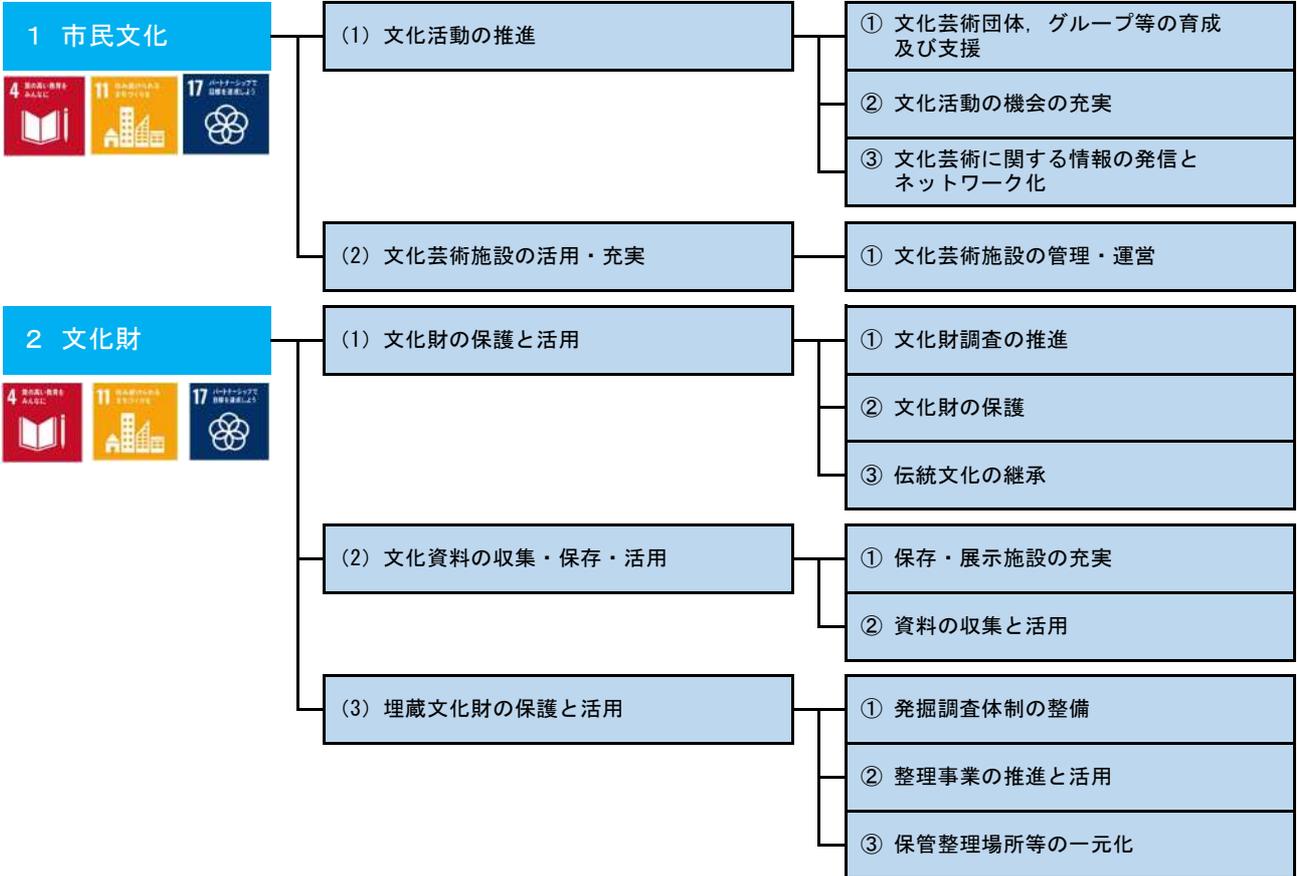
教育



生涯学習

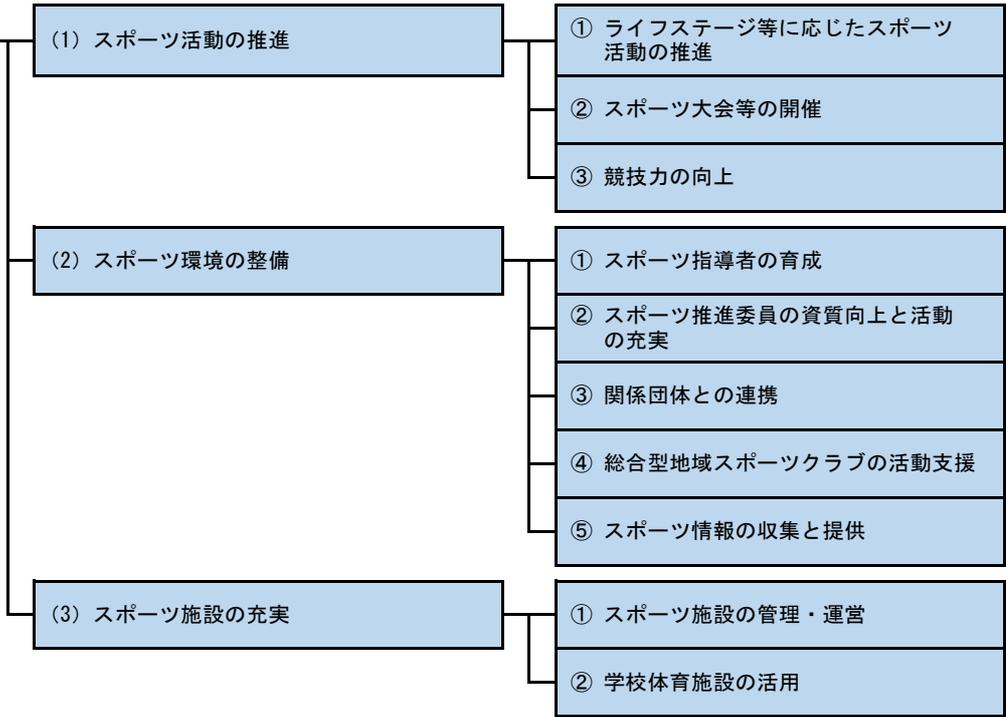


文化



スポーツ

1 スポーツ・レクリエーション



八千代市文化財審議委員名簿（案）

No.	区 分	氏 名	経 歴 ・ 職 業	任 期
1	文化財に関し識 見の高い者	稲 田 晃	元あずさ第一高等学校 非常勤講師	R7.10.1 ~ R9.9.30
2		金 出 ミチル	東京藝術大学大学院 非常勤講師	R7.10.1 ~ R9.9.30
3		木 原 律 子	元八千代市史編さん委員	R7.10.1 ~ R9.9.30
4		栗 本 佳 弘	元千葉県立博物館長	R7.10.1 ~ R9.9.30
5		小 池 淳 一	国立歴史民俗博物館 研究部教授	R7.10.1 ~ R9.9.30
6		阪 田 正 一	元立正大学文学部特任教授	R7.10.1 ~ R9.9.30
7		濱 名 徳 順	宝聚寺住職	R7.10.1 ~ R9.9.30
8		綿 貫 啓 一	元八千代市史編さん執筆員	R7.10.1 ~ R9.9.30

令和7年度「第18回 2025夏八千代子どもサミット」実施要項

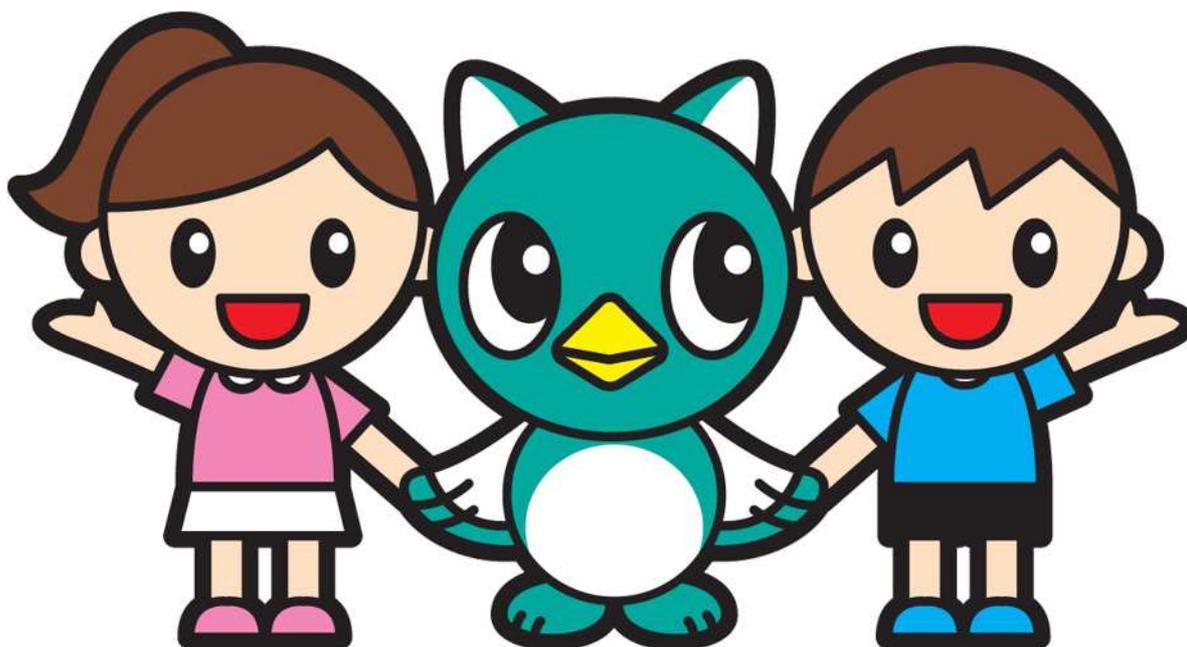
- 1 目的 未来を担う児童生徒が地域社会の一員としての自覚をもって行動するとともに、小中義務教育学校が連携して、地域社会に主体的に参画することを期する。
- 2 主催 八千代市教育委員会
- 3 主管 八千代子どもサミット実行委員会
- 4 参加者 各小中義務教育学校代表児童生徒62名
[小学校19校/各校2名, 中学校10校/各校2名, 義務教育学校1校/4名]
市内高校生・大学生
- 5 期日 令和7年8月1日(金) 13:00~16:40
※執行部及び実行委員は9:00集合, 児童生徒及び学校担当者は10:00集合
- 6 会場 八千代生涯学習プラザ 2Fアリーナ, 多目的アリーナ
- 7 日程
- | | |
|-------------|----------------------------|
| 9:00 | ・実行委員会, 執行部打合せ |
| 9:45~10:00 | ・児童生徒及び学校担当者集合(アリーナ) |
| 10:00~10:30 | ・オリエンテーション(アリーナ) |
| 10:30~11:45 | ・【各学校の子どもサミット活動取組紹介】(アリーナ) |
| 12:00~12:40 | ・昼食 |
-
- | | |
|-------------|--|
| 13:00~13:20 | 1 【開会セレモニー】(多目的ホール)
(1)開会宣言 (2)執行部員挨拶 (3)市長挨拶 (4)来賓紹介 |
| 13:30~14:20 | 2 【異校種ディスカッション】(アリーナ)
『みとめあい』とは?~自分も相手も尊重するために~ |
| 14:30~15:20 | 3 【全体ディスカッション】(多目的ホール)
「みとめあう八千代市へ」 |
| 15:30~15:50 | 4 【地域ディスカッション】(多目的ホール)
「地域に広げよう~みとめあいの輪~」 |
| 16:00~16:20 | 5 【閉会セレモニー】(多目的ホール)
(1)執行部員挨拶 (2)閉会宣言 |
| 16:20~16:40 | 6 【写真撮影・解散(実行委員会, 事務局, 打合せ)】 |

8 役員

・実行委員長		瀬口	朗子	(みどりが丘小学校長)
・副実行委員長	[全体担当]	熊谷	俊彦	(勝田台中学校長)
	[阿蘇米本・村上地区]	西	俊治	(村上東小学校教頭)
	[勝田台地区]	逢坂	誠	(勝田台中学校教頭)
	[大和田地区]	吉田	恭一	(大和田西小学校教頭)
	[萱田地区]	本橋	尚美	(萱田小学校教頭)
	[八千代台地区]	目黒	大樹	(八千代台西小学校教頭)
	[高津・みどりが丘地区]	渡邊	和紀	(みどりが丘小学校教頭)
	[睦地区]	齋藤	芳雄	(睦中学校教頭)
・実行委員	[阿蘇米本・村上地区]	中目	紗也香	(村東中)
	[勝田台地区]	渡邊	大樹	(勝南小)
	[大和田地区]	四方田	実希	(大中)
	[萱田地区]	矢野	郁香	(萱南小)
	[八千代台地区]	竹内	圭太	(八西中)
		鬼塚	なるみ	(八西小)
	[高津・みどりが丘地区]	鎌田	吉尚	(西高小)
	[睦地区]	井上	佳那	(睦中)
・学校担当者	[阿蘇米本・村上地区]	筒井	浩平 (阿蘇米本), 栗原 大樹 (・中), 田中 彰人 (村小), 宮本 聖翔 (村東小), 石川 晃太 (村北小)	
	[勝田台地区]	近田	博 (勝中), 宮間 雄斗 (勝小)	
	[大和田地区]	田中	優生 (大小), 田中 美羽 (大南小), 友永 有香 (大西小)	
	[萱田地区]	坂本	将馬 (萱中), 関 智子 (萱小)	
	[八千代台地区]	小坂	睦実 (八中), 時田 和 (八小), 中越 智子 (八東小)	
	[高津・みどりが丘地区]	大島	晴香 (高中), 高橋 直也 (東高中), 大木 莉々菜 (高小), 鶴飼 亮 (南高小), 櫻井 里奈 (新小), 包國 佑菜 (み小)	
	[睦地区]	高橋	智彦 (睦小)	
・事務局	[八千代市教育委員会]	野田	裕行, 福田 恭子, 井口 加奈子 (指導課)	

令和7年8月6日（水）

令和7年度 第11回八千代教育サミット



令和7年度第11回八千代教育サミット開催要項	P 1
八千代教育サミット実行委員及び事務局名簿	P 2
当日の流れ	P 3
グループディスカッションの流れ	P 4
グループディスカッション グループ名簿	P 5

令和7年度「第11回八千代教育サミット」開催要項

- 1 目的 将来を担う子どもたちの可能性を引き出し伸ばすためには、教育を核とした持続可能な地域社会を構築することが喫緊の課題である。八千代市内の各学校が有機的に連携することを目指し、子どもたちの教育に携わっている者が一堂に会すことにより、校種を越えて教育理念を共有化するとともに、その具現化を図ることで教育環境の向上に資する。
- 2 主催 八千代市教育委員会，八千代市校長会
- 3 主管 八千代教育サミット実行委員会
- 4 日時 令和7年8月6日（水）13：00～16：30
- 5 会場 八千代市市民会館
- 6 令和7年度のテーマについて

From 0 to 22 しなやかに未来を拓く力を育む学校のあり方
～ 学校経営の再考 ～

【本テーマ，サブテーマの設定理由】

世界の情勢の急激な変化に伴って，社会構造や子どもを取り巻く環境は大きく，また急速に変化しており，予測が困難な時代が続いている。令和の時代を担っていく子どもたちには，豊かな創造性を備え，持続可能な社会の創り手となることが期待されている。教育を通じて，そのような人材を育成することが学校に求められている。

そして，世界の情勢が大きく変化していることと同様に，学校を取り巻く状況は大きく変化している。学校教育に関わる内容や事案については，メディアでも度々取り上げられ社会的にも大きな話題になっている。「学校での働き方改革」・「教職員の人材育成」・「新任教職員希望者の減少」・「コミュニティ・スクールの推進」・「教職員の不祥事」等，事例を挙げると課題は多岐にわたる。これらの課題を解決するためには，関係機関との連携や多角的な視点をもった対応が必要不可欠である。

こうした視点から，メインテーマについては，「From 0 to 22 しなやかに未来を拓く力を育む学校のあり方」と設定し，本市の教育において，0歳から22歳に関わる様々な校種のリーダーの方々と共に，改めて「学校経営」について議論をしていきたい。多岐にわたる課題に対し教育サミットを通して，アイデアや課題意識の共有がなされ，学校教育の質の向上がなされることを目指していきたい。

7 令和7年度 第11回八千代教育サミット実行委員及び事務局名簿

令和7年度 第11回八千代教育サミット実行委員

番号	職名	氏名	所属	役職
1	校長	村上 恒和	八千代市立萱田小学校	実行委員長
2	校長	宍浦 智子	八千代市立八千代台小学校	副実行委員長
3	校長	工藤 秀昭	千葉県立八千代高等学校（公立）	副実行委員長
4	校長	土肥 洋一	秀明大学学校教師学部附属 秀明八千代高等学校（私立）	
5	学長 (学部長)	榎森 啓元	秀明大学	
6	教育次長	兒玉 健司	八千代市教育委員会	
7	指導課長	加藤 英昭	八千代市教育委員会	
8	教育指導主事	渡邊 敏雄	八千代市教育委員会	
9	教育指導主事	大澤 紀子	八千代市教育委員会	

令和7年度 第11回八千代教育サミット事務局

氏名	所属
野木 雅生・清水 俊輔・福田 恭子	八千代市教育委員会

8 当日の流れ

(敬称略)

時 間	事 項	会 場 ・ 内 容 等
12:45～	受付開始	【市民会館3階】
13:00～	オープニング	【第3会議室】 司会進行 八千代市教育委員会指導課長 加藤 英昭 開会宣言 八千代教育サミット実行委員会 村上 恒和 主催者挨拶 八千代市教育委員会教育長 嶺岸 秀一 八千代市校長会長 高原 敬介
13:15～	話題提供	○市内教職員のインタビュー映像上映 ○教職員希望学生のアンケート調査の報告 ○校長先生方のアンケート調査の報告
14:10～	グループ ディスカッション	【第1, 2, 4, 5, 多目的室, リハーサル室】
15:50～	報告会	【第3会議室】 司会進行 八千代市教育委員会指導課長 加藤 英昭
16:20～	エンディング	司会進行 八千代市教育委員会指導課長 加藤 英昭 閉会宣言 八千代教育サミット実行委員会 工藤 秀昭

9 八千代教育サミット実行委員会・グループディスカッション担当グループ

(敬称略)

グループ	会 場	職 名	司 会 者
第1グループ	第1会議室	校 長	村上 恒和
第2グループ	第2会議室	校 長	宍浦 智子
第3グループ	第4会議室	校 長	高原 敬介
第4グループ	第4会議室	校 長	佐々木 優子
第5グループ	第5会議室	校 長	・口 朗子
第6グループ	多目的室	教育指導主事	渡邊 敏雄
第7グループ	リハーサル室	教育指導主事	大澤 紀子

10 グループディスカッションの流れ

時間	内容
14:10～ (2分程度)	1 司会者担当から (1) 自己紹介 (2) 協議の流れについての説明【ディスカッションの方向性を提示】
14:12～ (1人2分程度)	2 各参加者から (1) 各グループごとに、自己紹介を行う。
14:25～	(2) 各グループにおいてKJ法の手法で、現在及び未来の学校経営に係る課題と解決方法を明らかにする。 ※校長先生方が考える「しなやかに未来を拓く力」を青のフセン、「しなやかに未来を拓く力を育む学校経営」をピンクのフセンに書く。 (3) KJ法で模造紙にまとめ、グループで話し合う主な内容を決定する。 模造紙作成は、司会と指導課指導主事がメインで行う。 (4) 司会を中心として、グループでディスカッションを行う。 (5) 報告の準備を行う。 ※報告者は各グループで決定する。 ※ディスカッション中に適宜休憩をとる
15:40	3 ディスカッション終了 →グループ内で全体会での報告者を決める。 第3会議室へ移動する。
15:50～	4 報告会開始 ※第1グループから、第7グループまで協議内容の報告をする。 ※1グループ3分程度【時間調整のため3分でベルを鳴らす】

【会場図】 状況に応じて、配置等を変えていただいても構いません。



1 1 グループディスカッション名簿

グループディスカッション グループ編成名簿（敬称略）

グループ1【第1会議室】 8名（幼保子1，小2，中2，義1，高1，委1）

所 属	役 職	氏 名	役 割
萱田小学校	校長	村上 恒和	司会
睦小学校	校長	掛川 良治	
大和田中学校	校長	中村 史子	
高津中学校	校長	米石 達也	
阿蘇米本学園	校長	田中 しをり	
八千代東高校	校長	遠山 宗利	
若葉ナースリ・スクール	園長	藤澤 彩	
八千代市教育委員会	指導課	清水 俊輔	記録

グループ2【第2会議室】 8名（小3，中1，高1，特支1，大1，委1）

所 属	役 職	氏 名	役 割
八千代台小学校	校長	宍浦 智子	司会
村上東小学校	校長	池浦 一寛	
南高津小学校	校長	杉崎 有衣	
萱田中学校	校長	丸山 太郎	
八千代松陰高校	校長	櫻井 丸	
八千代特別支援学校	校長	平井 綾子	
秀明大学	教授	花屋 哲郎	
八千代市教育委員会	指導課	向中野 優	記録

グループ3【第4会議室前面】 9名（小3，中2，高1，大1，委2）

所 属	役 職	氏 名	役 割
大和田南小学校	校長	高原 敬介	司会
新木戸小学校	校長	丹治 貴史	
八千代台東小学校	校長	田中 陽子	
睦中学校	校長	大小田 泰一郎	
東高津中学校	校長	宮崎 幸子	
八千代高校	校長	工藤 秀昭	
秀明大学	教授	藤澤 伊佐雄	
八千代市教育委員会	教育センター所長	向 智広	

八千代市教育委員会	指導課	井口 加奈子	記録
-----------	-----	--------	----

グループ4【第4会議室後面】 9名（幼保子1，小2，中2，高1，大1，委2）

所 属	役 職	氏 名	役 割
村上小学校	校長	佐山 佳子	
大和田西小学校	校長	佐々木 優子	司会
村上東中学校	校長	平澤 一浩	
八千代台西中学校	校長	茂呂 崇	
秀明八千代高校	校長	土肥 洋一	
秀明大学	教授	飯田 良	
村上ひかり幼稚園	園長	廣見 宣夫	
八千代市教育委員会	学務課長	片波見 昌浩	
八千代市教育委員会	指導課	坂井 里衣	記録

グループ5【第5会議室】 9名（幼保子1，小3，中1，大1，高1，委2）

所 属	役 職	氏 名	役 割
みどりが丘小学校	校長	・口 朗子	司会
八千代台西小学校	校長	土 [◎] 智子	
勝田台南小学校	校長	目黒 英樹	
八千代中学校	校長	種村 保	
秀明大学	学部長	榎森 啓元	
八千代西高校	校長	齋藤 航	
勝田台保育園	園長	丸山 純	
八千代市教育委員会	保健体育課長	宗像 洋	
八千代市教育委員会	指導課	細木 勇太郎	記録

グループ6【多目的室】 8名（幼保子1，小3，中1，高1，委2）

所 属	役 職	氏 名	役 割
村上北小学校	校長	菊地 正一	
大和田小学校	校長	山本 正義	
西高津小学校	校長	宗像 桂子	
勝田台中学校	校長	熊谷 俊彦	
千葉英和高校	校長	大羽 聡	
高津南保育園	園長	島根 美千代	
八千代市教育委員会	教育指導主事	渡邊 敏雄	司会
八千代市教育委員会	指導課	野田 裕行	記録

グループ7【リハーサル室】 8名（小3，中2，大1，委2）

所 属	役 職	氏 名	役 割
萱田南小学校	校長	越川 多佳美	
勝田台小学校	校長	山本 将秀	
高津小学校	校長	北林 真理	
村上中学校	校長	平山 昌広	
秀明八千代中学校	校長	富谷 利光	
秀明大学	准教授	山口 高領	
八千代市教育委員会	教育指導主事	大澤 紀子	司会
八千代市教育委員会	指導課	桜庭 幸太郎	記録

※リハーサル室は土足厳禁のため，事務局がスリッパ準備。

《メ モ》

「学びカフェ」の様子



参加した先生方が、時には少人数で、時には集まって語り合う姿が見られました。途中で教育長も参加して下さい、熱く語り合いました。このような自由参加型研修は、教育長の発案で、今年の夏休みに実現しました。このように主体的に学ぶ姿が八千代市のすべての学校で見られるよう、今後も、先生方が学びを楽しみ、新たな授業を共想できる環境を先生方に提供していきたいと考えています。

新システム導入研修の様子



新システム導入研修は、全ての教職員を対象として行いました。また、右の写真は、回収用に集められた ICT 機器です。平成30年より7年間頑張ってくれました。

性の健康 思春期編



～子どもたちの
生きるためのスキルを広げるために～



講師

秀明大学看護学部准教授

ひがし あき
東 亜紀氏

今回は、思春期の子ども「性」にまつわることと保護者の向き合い方、子どもの「将来の健康」について、疑問に思うだろうことをまとめてお話しします。

例えば、「やせすぎのお母さんから生まれた赤ちゃんは低出生体重児が多く、低出生体重児で生まれたお子さんは、将来、高血圧や糖尿病などの生活習慣病になることが多い」ことがわかっていますが、その「やせすぎのお母さん」は思春期からやせていることが多いのです！

思春期の子どもたちの将来の「健康」について、性にまつわる情報をアップデートしてみませんか？

日時：6月26日（木）午後1時から2時30分まで

場所：セントラルスポーツ生涯学習プラザ（八千代市総合生涯学習プラザ）
2F 多目的ホール

主催：八千代市教育委員会

対象：主に小中学生の子を持つ保護者、その他家庭教育に関心のある方

人数：先着60人

参加費：無料

受付：6月1日（日）午前9時から

6月25日（水）午前9時まで

申込：右のコードから電子申請でお申し込みください。

※ 保育なし・お子さま同伴不可



講演会の様子



参加者の感想

- 実際に事例もまじえてお話いただいたことで、わかりやすかったです。
自分をまず大切にしていこうと思います。
- 息子（高2）娘（小6）仕事でも関係のあるテーマでとても良かったです。
実際の対応のお話も多く参考になりました。プレコン、若い人のやせについて、もっと周知していきたいです。本日はありがとうございました。
- 今の小中学生への性教育に関する取組みや、こういった内容を伝えているかが分かって参考になりました。
- わかりやすく、深いお話をありがとうございました。大人が学んでおくことの大切さを実感することができました。子供達は、どんどん新しいことを始め、大人はついていけないと感じています。新しいことも受け入れつつ子供達と共に生きていきたいと思いました。
- ご丁寧な説明をありがとうございました。子供に対して話していることや、大学生の話がきけ、今を知ることができました。ネットで情報過多ですが、正しい知識を大人も得ることが難しいと改めて思いました。
- 思春期の様々な情報を知ることができ、とても勉強になりました。家に帰ったら復習します！

きららさんと一緒に不思議な・夢の世界に！

親子で楽しもう！ 変身おはなし会と ワークショップ

アレアレ

ワクワク

<変身シリーズ>

- ・「パンダおやこたいそう」
- ・紙芝居「まんまるまんまたんたかたん」
- ・くるくるシアター
- ・マジックシアター
- ・大型絵本「へんしんトンネル」など

<ワークショップ>

「ぶらぶらネズミ」を作って
親子で人形劇ごっこをしよう！



講師：ひとり人形芝居 ^{きらら}雲母 さん

- 日時 7月30日（水） 午後1時～2時30分
- 場所 セントラルスポーツ生涯学習プラザ（総合生涯学習プラザ）
2F 多目的ホール
- 主催 八千代市教育委員会
- 対象 3歳から小学校低学年くらいまでのお子さまと保護者
- 定員 先着20組（1家族4人まで）
- 参加費 無料
- 受付 7月1日（火）午前9時から
7月29日（火）午前9時まで
- 申込 右のコードから電子申請 またはこちらから↓
https://apply.e-tumo.jp/city-yachiyo-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=45389
※保育なし



講座の様子



参加者の感想

- 一度も飽きることなくとても楽しく過ごせました。すばらしかったです。
- 夏休みならではのイベントでよかったです。平日というのもありがたかったです。又、参加できたらと思います。
- 工作が好きなので楽しめました。可愛いねずみさんで娘も気にいったようです。
- 子供達ととても楽しめました。お家でも楽しめそうです。貴重な体験をありがとうございました。
- お話も工作も大好きだったので、とても楽しんで参加できました。自分が作った人形で実際に遊べてうれしそうでした。
- 子供が楽しんで参加していて良かった。
- 楽しかったです！また参加したいです。
- お友達と一緒に参加したこともあって完成後大盛り上がりでした。
- ねずみを作るのが楽しかったと子どもが喜んでいました。
- きららさんのお話会が大好きだったので参加しました。今回はネズミくんの人形を作るワークショップもありいつも家族ではできない工作が出来て親子ともに大満足でした。家でもネズミくんでたくさん遊ぶと思います。